

令和6年度前期「子ども・若者の提案」に寄せられた意見

※明らかな誤字などを除き、寄せられた意見を掲載しています。

テーマ 未来（2050年）の暮らしを支える交通とは？
2 誰もが移動できる、持続可能な『まち』にするためには？（701件）

提案内容
現在、少子高齢化が進んでいるので、それにともない、車イスなどが乗り降りしやすい乗りもの等を増やしたほうがいいと思います。他にも家でリモートでけん査、薬のちゅうもん、その後ドローンで運んでくる、といったような、家に出なくてもさまざまなことをできるようにすることで、体が弱い年よりや家事や子どものおもりで手がはなせないしゆゑが助かると思います。
テーマ1で書いたとおりで人々の運動能力低下や、そもそも移動の必要ない生活が広まるのが起こりうると思います。しかし、それでは災害時などで移動をせざるをえない状況になった時、被害が大きくなるかもしれません。そこで、人間にもともとある「歩く」能力の低下を防ぐウォーキングのイベントを開くなどして、今だからこそ機械にたよらない活動をするべきなのではと考えています。
駅などの公共交通機関にアクセスできる場所を増やせば、自動車などの、事故が起こりやすいものに乗らなくて済む。
すごく沢山の金がかかってしまうけど、1人1台、行き先を指定したら(駅やスーパーマーケットなど)人間が走るくらいスピードでそこまで連れていってくれるもの(空港とかあるやつです。)を渡せば、誰でも移動しやすくなると思う。
ドローンを大きくして、自動運転にして、人を上にのせたりして運べば、必要な線路(!?)はいらないし、スペースをあまりとらない。生産はロボットだから大量生産できる。発電は風力でいい。(動きながら発電できる。)
まず車を、9割方水素自動車にして、温暖化を進めないようにしながら車の値段を低くしていき、いろいろな人が買えるようにする。
最近バスの運転手不足による本数削減などがあって、地方に住む人々はなかなか移動しづらくなっていると思います。なので、その地域の人々が、自家用車で高齢者や体の不自由な方などの、自力で移動が困難な方を乗せていってあげるなど、地域での助け合いが大切だと考えました。
歩道の幅を広くして、車道のように二つに分け、人と同じくらいの速さで進む足を使わない乗り物を、足が不自由な方やお年寄りに配る。
簡単なもので車を動かせるようにする(ゲームのコントローラ等)
・電車の駅がもっと細かく設置・車がとべるかも！
自動車の料金を高くしたり、市街地には車を通る道を少なくして、路面バスや自転車を増やす。
・地面がじゃりなどでこぼこしておらず、きれいに平らになるように工事する・急な坂などをだれでも上ったり、下ったりできるようゆるやかにする
・自動運転の技術がある車を開発し、車を運転できない高齢者も移動できるようにする。・電車の本数を人の多い時間に増やし、少ない時間に減らし、効率的なダイヤを作る。・バスの本数を増やし、電車の無い地域でも楽に移動できるようにする
・車を使わない（事故等のため）・街をバス、鉄道、自転車、タクシーなどで移動している。
道路などを整備し、大都市などでは歩道と車道をしっかり分け、安全に車を運転できるようにする。
地下に横にも動くエレベーターを設置して、お店とお店をつなぐ。地域で交流して近所の若い人などに送って行ってもらったりする。
自転車を駅から学校まで定期制で貸し出す。
全国に床が低い路面電車を設置し車いすや高齢の人にも使いやすいようにする。
最近なくなりつつある路面電車をふきゅうさせるとよいと考える。なぜなら、環境にも優しく車の運転ができない人でも、楽に移動できるし、タクシーなどよりもお金がかからないと思ったから。
バスの運転手を増やして、交通網を増やす。

提案内容
職業1つだけでなく、バス運転手と、〇〇などのようにする。運転免許を持ったら、必ず10個以上タクシーの運転手として働く。お店に行く際、マイカーなら、お金をとり、バスなら、お金を安くする。バス運転手や、タクシードライバーの賃金を、働いた時間ごとに変える。
一人一人が乗れるコストの安い乗り物を作る。レールなどを設置しなくてもよく、単体で利用できる。個人での利用なのでレンタルなどもスムーズ。子供から高齢者まで乗れる安全で簡単な乗り物。自動運転機能などを入れて、免許なしで乗れる。
生活が苦しい立場にいる人(シングルマザーなど)の人に手厚い保護をしたりして、みんなによりそうことで、より良くなると思う。
市内に地下鉄をしいたり、路面電車を走らせる　バス路線をもっと増やす　これらを安くする
車いすを使用している人にとって、きれいな道は便利だと思います。たとえば、でこぼこしている道を通らなければいけないとき、いちいちタイヤがはまって、ぬくのは大変です。あと複雑な道などで横断歩道の線がないときは、安全面でも心配だし、詰まったりしそうです。乗り物は大きな駅がほどよくあって、環境に配慮した(ハイブリット、燃料電池などの)車体のバスなどがその近くにあるといいと思います(なぜなら長い移動は、たくさんの人を少ない資源で運べる電車にした方が二酸化炭素がさくげんできるかなと思ったから)
バリアフリーにする。急な坂を減らす。エレベーターに「上に参ります。」などの音声をつける。
ログインボーナス的な感じで乗る回数によって特典をつける。
空を飛ぶクルマが完成して、それまでにつかっていた道路はその空を飛ぶ車の着陸・離陸場になる。
・街中に落ちているごみを拾うボランティア活動を行うことで、気持ちよく人が移動できるようにする。・人々の貧富の差をなくすため、料理店なら食べ物値段を安くしたり、バスや電車の料金をタダにしたりする。・給料も上げる。
誰もが移動できるまちのために、国が交通費を補助してくれるようにする。自動運転を多くして、みんなが利用できるようにする。
歩道と自転車と自動車を完全に分ける。 自転車を使うように心がける。
・自主的なウォーキングをさせる。 ・自転車専用通路のかくちょう。
歩道のところが歩くエスカレーターになっていて横断歩道のところは、歩道がアーチ上に作られていて、接触を防げる上に、移動しやすい。
市の中心部にLRTを設置すべきと考える。人口が緩やかに増加するさいたま市にも自動車やバスからの再転換を目指すべきだと考える。今、大宮駅周辺の特にバスターミナル周辺は大変な混雑となっているのに対し、一般道の自家用車はそこまで混雑しておらず、絶好の機会である。
タクシーがとても安くなり自動運転になる 大宮駅のホームドアについて、宇都宮線の下り線は人の乗り降りがはげしいのでホームドアを設置してください。
◎公共交通機関の利用者が減っても本数や車両を少なく運行する。 または、タクシーなど発車時刻が決まってない公共交通機関の利用に補助金を出す。 ◎駅でユニバーサルデザインにし、誰もが不自由なく利用できるようにする。
さいたま市を見ると、西側は交通の便が良いが、東側は駅が少ないため、バスの本数を増やすか、コストはかかるけど、新しい駅を一つつくるかして東側の人も移動しやすいようにすると良いと思った。
リサイクルされた物で点字、音声に対応した看板を製作し、だれもが迷わずにできるようにする。
少子高齢化で車を運転できる人がかなり減ってきている。そのためバスなどの公共交通機関の需要がとても増えており、またそのなかでもバスは運転手1人に対して、乗れる人が多いため効率がよいです。またバスを利用するにあたって持続可能にするには燃料電池バスを使い運行するべき。しかし、燃料電池バスは普通のバスが2500万円なのに対し1億円もかかるため、政府か他の企業などと協力して、運営していきたいと思う。
自転車専用道路を作ったり、道路と歩道をしっかり区別したりするなどの交通整備やしっかり左右の確認など、常に事故を起こさないように気をつけたい。
駅のホームドアを設置してほしい。 特に東大宮駅は電車が高速通過したりするのでとても危ない。

提案内容
東大宮駅にホームドアを設置する。（乗降者数の多い駅など）駅にすべらない砂みみたいなものを雨の日にかく。段差があるところはスロープを設置する。地域などで、一緒に遊べたり、話せる場所を作る。
人口を増やして、鉄道やバスなどに関わる仕事につく人たちを増やして、どんどん交通を発展していければ持続可能なまちにできると思います。
さいたま市、特に大宮は鉄道のまちなので、ぜひ路面電車を活用して頂きたいです。でも中心部で活用すると他の渋滞などの問題も発生すると思いますが、マップを見たところ与野やさいたま市立病院などのあたりに電車があまり通っていないように見られたので、環境のもよい路面電車があれば(LRTのような)、とても便利になると思います。
・JRとかの電車の電気を持続可能な発電で作った電気を使う。 ・車とかタクシーの上で太陽光発電をする。 ・電車の中に車いすの場所を増やす。
雨や風などで電車が止まらないようにするためにもっと強化させる。車いすの人なども便利で使いやすい街にするために階段だけのところにスロープなどをつくる。ライドシェアなどでタクシーを増やす。
電車などが発達していない地域での他の交通機関を確保しないといけないと思う。バスの運転手も不足しているし、公共のバスをたくさんはりめぐらすなど国が運営して人手不足をおさなわないといけないと思う。安全なドローンとかもできたら良いと思う。
老人がしっかり生活できるようにする。 電気を使う自動車にする。
少子高齢化をとめるように、かじをきる人がいないから、それをとめるために高齢者より子供を優先する。
高齢者の移動が不便になるのは、車が運転できなくなることだと思うので、駅前などに無人タクシーを設置して、行き先を言うことで、自動運転で移動してくれるものがあるといいと思う。そうすれば、子どもや高齢者、タクシーの運転手と二人きりになるのが気まずい人も乗ることもできるうえ、会話ははずむようになる。(半分レンタカー半分タクシー)
くつの下にとりつけるタイヤが普及、発達により、こしのわるい人でも徒歩で行けるはんいがひろがる。
移動できる環境を維持していくためには、子供のころに交通に興味を持てるような環境をつくり、将来そういう職につきたいと思えるような取り組みを進めるといいと思う。
マイカーを持たないと移動しづらくては、高齢者が移動するのが大変だと思います。例えば、バスは市の中央はたくさん走っていますが、端の方は、あまり走っていません。どこの地区にもバスをまんべんなく走らせた方がいいと思います。また、宇都宮のように、LRTを導入してみてもいいかがでしょうか。
子どもでもじいさんでも気軽に移動できるような安全に配りよする。
バスはその市の人口の集まっているところにしか走っていないため、市全体を走らせるようなバスにする。
週末などに地域の集会で集まりを開き、そこで地域のバスを利用したり、高齢者の交通事故が増えているので、高齢者がわかりやすいような、標識を作り、みんなが安心して運転できる道路にしたいいいと思います。
観光地などに電車やバスで行きやすいようにすれば、電車やバスを利用する人が増え、車を使う人が少なくなるかもしれない。そうすると電車とバスは一定の利用者を確保でき、車よりも環境にやさしい電車やバスが廃止されず地域の人々も乗ることができるかもしれない。観光地のホームページなどでの呼びかけをするといいかもしれない。
タクシーの運営を個人で行い、乗り合いタクシーなどのサービスを推進してはどうか。 自分の市、町をPRして市、町の人口を増やし、団体で運営している交通会社を潰さないようにする。
栃木県や群馬県から来ている人が電車の本数を増やして欲しい。 また、学校に連れてってくれるスクールバスもじゅう実すると良い。
自動運転で、しょうがいをもった人でも、自由に移動でき、環境に配慮したものが重要だと思う。 そのためには、電気自動車などが重要だと思う。
全ての家庭に自転車配り、それで移動するようにする。
・電車の本数を今の状態で維持できるように、少し運賃を値上げするのはどうか。 ・タクシーを市民の個人個人で運営できるようにして、そのタクシーの運賃を安くしてみるのはいかがでしょうか。
空き家などの人が住んでいない所をこわして、そこに太陽光パネルを設置する。 紙はつくるときに木を切っていて環境に悪いため、机などを液晶パネルにして中をライトで照らして、データが入っていて、専用のタッチペンを使っていれば教科書やノートが出せたりする。

提案内容
車いすの人でもすごしやすいように車いすの人専用の車両をつくったり、広いトイレ、バスの車いすをおくスペースをふやす。
バスや電車の利用率を時間帯ごとに調べ(とくに郊外では)利用率が高い時間帯の本数を増やすことを検討する。または、高齢者などはバスに乗るときに段差が大きいとバスに乗りにくくなってしまうことが考えられるので、スロープを設けたり入り口の高さを低めにする事や手すりを多めにつけることで、さらに快適になると思う。
鉄道で移動できるように利便性をよくする。 そのためには車いすや障害者を自動で乗せられたり、音で案内できたらいいと思う。
街に水素ステーションを設置することで、水素カーの利用者を増やす。
バリアフリーなどを進めて、電機の節約やSDG s を心がける。 1人1人の小さな行いによって持続可能なまちをつくれると思う。
山間部などの過疎地域では、バスの本数が減ったり、道路がふうさされたりして、移動ができなくなったり、荷物が届けられなくなったりする。そのため、ドローンを活用して荷物や人を運べるようになると、便利であるし、体の不自由な方やお年寄りでも安心して楽に移動ができるようになると思う。
自分の体だけで移動する
電車や車にたよらず歩く。
・日本がSDG s を心がけるようにし、世界中にSNSで発信をする。 ・SDG s を日本が心がけるようにしたことによってどう変化したのか功績をのこし、SDG s に心がけるメリットを世界に提示する。
地域イベントをふやす
・ポイ捨てや歩きスマホをやめるように、ポスターでうながす。
動力を水にする。農業を使わない。そのかわり害虫とかを食べる動物やこん虫をどう入する。
交通公共機関を使うことは、一人あたりのCO ₂ の排出量を減らすことにつながるので、交通公共機関を使うことを利点とともに呼びかけるべきだと思う。
他国からの食物の輸入量を減らし、食料自給率を上げる。太陽光パネルなどがどの建物にもあり、火力発電の割合を減らして二酸化炭素の量を減らす。ガソリンではなく電気エネルギーや水素を使う。
電車だと思います。さいたま市には大宮、浦和、さいたま新都心など大きな駅がたくさんあります。僕は特に大宮がいいと思います。例えばさいたま市の定期券と連けいできるアプリをつくって10分のれば10ポイント20分乗れば20ポイントとか。
車が通れるような道路を増やす。車からの排きガスが出ないようにする。
テーマ1で述べた通り電気を動力とした乗り物(LRTなど)を増やすことが重要、地球環境にも優しくなる。発電は太陽光発電などの持続可能なエネルギー発電法を増やす。現在は火力発電が多くをしめているがいずれ原子力発電に次ぐエネルギー源が現れないかぎり原子力発電の安定した稼働がまたはじまることで持続可能となる。
地球温暖化で沈む陸が出きないようにCO ₂ を減らしたり、太陽光パネル(使い終わった)の処理をししたり、ペットボトルを無くしたりする必要があると思う。太陽光パネルのかわりに土から電気を使うみたいなことをたくさんできるように発明することや、木や草を減らすのではなくて、たくさん栽培していく必要がある。
スロープの設置や、階段をエスカレーターにすることで、車いすの方も動きやすいまちへ。お年よりの方には、通りかかった人が、荷物を持ってあげるなどの、年配の方への、配りょを呼びかける取り組みを行うなど。田舎に人を派遣して、企業を設営するなど東京などへの人口集中を少しでも和らげる。→活かせい化がすすみ(田舎での)そこにすむ、人達もくらしやすくなる!!
環境に影響しないようなエネルギーで「アニメの便利道具のような空を飛べる道具」の開発。
車を電気自動車に統一する。
駅のかく張をししたり駅をあらたにたてたりする ここからの時代「2024年問題」ふくめ鉄道がものすごくアツいのりものになるとおもうからそのじゅんぴあと草生やすwww

提案内容
地球にやさしい車を開発し、みんな車で移動すべき。AIが仕事をしてくれるので公共交通機関は健全かもしれない。
高齢者も移動できるようにするため、階段のところ全部にエスカレーターをつける。発電方法を再生可能エネルギーにする。
電車をたくさんつくる。(二酸化炭素さくげんのために)
空、地下、地上、海上に道をつくり、交通の便を良くする。障害者でも自動車いすなどで目的地に勝手に移動してくれる。
電気自転車や電気三輪車がある
どこにでも行けるドアを開発する。
もう一度エネルギー革命を起こして水素や電気などをエネルギーの主軸にする。ゴミを全て再利用できるようにする。森の整備をする。葉緑体を含む道路や建物をつくる。
資源の再利用。森の整備。プラスチックを分解する微生物。
自動販売機がペットボトルじゃなくて、ドリンクバーになると思う。(自分で水とう持ってくる)
自動運転タクシー
さいたま市のように発展している都市に人が集まって来るので、財政が赤字にならず、富がたくさんあるうちに、東京都のように都営のようなさいたま市営の公共手段(鉄道)をつくり、市内に住んでいる人なら〇割引のようにサービスし、都市から格安でいろいろなところにいけるようにする。(JRもあるが、それとは別に市内に住んでいる人は値下げのようにする。)埼玉高速鉄道を大宮に延しんさせる(いわつぎではなく)
コミュニティバスを走らせる。
そもそも運転する人がいなかったら意味がない。お金に余裕があるのだったら、多少は援助はした方がいいと思う。あと、自分の車が自転車で移動することも、電車が少なくなったらあると思うから駐車場をつくった方がいいと。
体が悪い人のために、道路にもさまざまな道に自動運転を導入する。
全ての歩道に動く歩道を設置する。自動運転のできる車を普及させる。
駅などから、自動運転の車が出ていて、高齢者などを運んでくれるまち。(電気自動車など) 今までの歩道を空港などの動く歩道にする。
「体が不自由な人は家に人型ロボットを用意されて一緒に連れて行ってきて、バリアフリー化を進める。買い物はAIが自動で買ってきてくれる。寝ている状態でしかいられない人は、毎日つきっきりで、介護人がいて、お手伝いをしてくれる。」などのようなまちにする。また、全ての道にスロープやなるべく歩く歩道をつける事を義務付けられているようにする。日が出ているときには、1時間ごとに2～3分間歩行者天国で、行きたい方向にAIで操作していける。
ごみを減らすため回収は決まった時刻に行う(早朝)。回収は区ごと。市のホームページに市のいいところを写真にとり掲載する。市営バスの運行を増やしバスの運賃をできるだけ減らし、税金から運転士さんの給料を配る。バスの会社に入れなかった人たちを市によんで運転士不足の会社を紹介する。市は会社に運転士さんの休かを許可する。SNSなどを活用し、さつえいスポットなどをあげる。
バスや電車の料金を安くする。車の値段をさげる。最近値段の高くなってきている燃料の料金を下げることによって、車に乗ることをためらうことが少なくなる。車の運転レベル5をほとんどの車に導入することでドライブをする人が増え移動しようとする意欲が湧く。車の燃料の排出を減らす。
自動運転できるような空飛ぶ車などのような今までにない交通手段や、公共交通機関も発達するが、誰もが簡単に移動できるように、バリアフリーなどにつとめると、持続可能な『まち』にする近道だと思う。
ガソリンを使わない自動車をあたりまえのようにする。 事故を防ぐために、自動運転の車を増やす。→今も少しあるけど、今以上にする。

提案内容
自然に融合することを目的とし、いらない材料でつくった橋や道をつくり、さらに川の汚染をなくすためにゴミの分別を楽しくできるように水の使い方を楽しく学べるようにゲームを子供と大人で共同作業して作る。
まずは電車内の優先席についての考え方の変革。外国人があこがれるような「日本」っぽい「まち」お年寄りが安心できる昔の雰囲気を残してみるのがいいかもしれない。他にも信号整備、駅のホームに自動ドアをつける、若者にも需要がある現代の店の開設等も大事だと思う。やはり年代ごとや外国人に対応したものを少しずつ作っていくべきだと思った。
乗り物をバリアフリー化にしたり、路面電車を増やす『まち』にするべきではないのかと思う。まずは、乗り物の乗りやすさを一番に考えるべきだと思う。
色々な人が利用しやすい電車やバスにするためユニバーサルデザインを取り入れる。
できるだけ、個人の自動車を使うのではなく、バスや電車などの公共交通機関を使うことで、移動が困難な人も減るし、二酸化炭素も減らすことができるので、地域の人が協力して支え合うことが必要。
持続可能な町づくりにしていくためには、地球に影響のない乗り物をより多くの人に使うってもらうために公共の乗り物であることが重要になっていくと思います。（例　バスか電車）
車を完全自動車にする。空にも道路をつくり交通じゅうたいを少しでもやわらげる。空にある高速道路でも安全でもっと色々な場所に環境へやさしいねんりょうで 行けるようになる。もっと 色々な移動手段がふえ、せんとくしも増えて豊かな生活になる。
駅に向かうバスの本数を増やしたりする。 タクシーよりも安い自動車での移動のサービスを発展させる。 お年寄りでも 生活しやすいようにネットワークの通販ビジネスが発展する。
無料サービスで人をはこんだりする その交通が廃止しそうな都市のいいところをSNSで発信することで、そもそもの廃止する理由をなくす その場所の特産物などをつくり売りまくる
まずは身近なものから少しずつ良くしていくといいと思う。ごみ問題や、クーラーの温度調節など、私の身近なものにも世界で問題になっているものがある。なので、それをインターネットやSNSなどで世の中に発信することで、みんながよりよい社会につながっていくことができると思う。
鉄道やバスの駅がない場所にも駅をつくったり本数を増やしたりすることで都市部への人口集中を抑えられると思う。
かそ化が進むところのみりよくなどを語り、人々に聞き入れてもらうことで人口をそろえられるようにして、かそ化をおそくする。
体が不自由な人でも楽に通れるように階段を坂にしたり、自動運転ができる車をつくったりする。高齢者の介護の人手不足をAIなどを使って、補う。
バリアフリーにする。ハイブリット車をふやし、二酸化炭素のはい出量をへらす。電車の本数を増やし、二酸化炭素のはい出量をへらす。無人のトラックなどをつくり、さんぎょうを盛んにする。
1人1人が地球を守ろうと思い、意識すること。自家用車などの使用をへらすために、バスのルートや本数、鉄道の本数を増やすこと。
自動運転の車を使い行動の制限をなくす。交通の手段をふやして、足や腰が弱い人が行ききしやすいようにする。バスなどの交通手段は時間を守ってうんてんする。
車を電気で走れるようにする。二酸化炭素をはいしゅつしない。車いすを使っている人でもかんたんに移動できる、緩やかな坂などをせっちする。さべつが、おこらない。
鉄道や路面電車を復活させる。タクシーなどをつかう。また、老人などが、歩きやすいように、車いすが自由に使えるような道路にし、活発化させる。
地域での交流を活性化させて交通面での意識を高めていく事を考えた上で、電車やバスの利用率を調べてその地域にあった対策を考えて実行していくということをやるべきだと思います。
自然に優しい燃料を新しく開発する。そうすることで、長距離移動に対して罪悪感を感じないため。世界中の人々が世界旅行を楽しめるようにしたい。
ゴミをリサイクルし、発電は再利用できる自然エネルギーや、無人運転でタクシーやバスを動かすようにしたり、AIで動かすこと。
ドライバー不足でバスやトラック、タクシーなどが問題となっているので自動運転を普及させて、ドライバーを必要なしとするまちづくりをすればいいと思う。

提案内容
老人やしょうがい者でも自分でのりおりできる車になるためにおりるところが坂になってたり、声を聞くだけで自動で運転できる車をつくったり、体の不自由な所をおぎなうことができる。AIを積極的にふやすこと。
乗り物を車いすでも乗れるように工夫する。そのために、車いす専用の号車を電車につけることや、車にも取り付けられる装置などをうったりした方がいと思う。
・点字ブロックの上に自転車などをおいている人がいるので注意を呼び掛ける。駅などにもう少し休憩所を増やしてほしい。
持続可能な資源を建物や交通に使ったり、都市の緑化を進めることで、空気の汚染の改善、3R、SDGsにもつながると思う。さらに、AIなどの技術も盛り込むことで、次世代の都市への発展も見込めると思う。
車いすに乗っている人や、障害を持っている人達が安全に移動できるように、介護する人が近くにいてあげて、降りる場所までついて行ってあげるような制度を作ることはどうか。
最近、高齢の方がアクセルとブレーキのふみまちがいの事故が多いので、バスも自動車も自動運転にして、積極的にAIを使った方がいと思う。
地方のかそ化で公共機関のバスや電車が廃止されてしまうのなら地方の魅力を伝えるような国のきかんをもっとつくればいと思いました。
東大宮のような、規模が小さいが、使用する人が多い駅は、拡張工事などを行なえば、少しでも混雑を回避できると思う。階段がこんでしまって列車に間に合わないことがあった。
・車いすの人や足が悪い人はかいだんを登るのが大変だから、スーパーや年齢関係なく使うしせつには必ずエスカレーターやエレベーターをつける。 ・音声よみあげ
道路の数がふえる。ひこうきがふつうに会社や学校につれていってくれる。
移動せずにホログラムや、ライブカメラで現地に行った気分になるようにする。食事も家で調理できる、レストランの料理を完ぺきに再現した冷凍食品をレストランにはん売(ネットショッピング可)させる。病院もライブカメラ等でオンラインでしんりょうさせ(点てきとかの注射も医師に遠くくでやらせるか、医師の指導のもとかんじゃまたはその人の知り合いにやらせる)、薬をドローンとかに輸送させて移動する必要をなくす。
宇都宮にあるLRTを真似て、過疎地域などに通すことで、高齢者などの交通手段も増えるため、町が栄える。このようにすれば持続可能な『まち』に一歩進むと思います。
あくまで人工知能はサポートであるという事を人間全員が理解すること。→人間の体力が著しく低下する。
高齢者の人達が乗りやすくなるように工夫をする。 交通が発達している所と、していない所で二極化するのを防ぐ。 空などを飛べるような車などがあった方がいと思う。
・車での移動を減らし、なるべく電車を使う。・障害者の人も乗れる乗り物。・電気自動車。・人が少ない地域にも交通整備をする。・歩きや自転車を使う。
電気自動車のふ及を目指す。CO ₂ を燃料にする。バスの上にソーラーパネルをつける。公共交通機関を増やす。
今現在、人が住めないような地域も住めるように改善すればよいと思う。
今、人がすめないようなところも、住めるように開発する。
・ユニバーサルデザインをとにかく使っている公共交通機関をつくる。・無料の交通機関。・道路の拡幅。
・高齢者多いからバスの運行を多くする。
・車を安くする ・みんなの頭を良くする→首相にぼし ・東京、神奈川、埼玉のがっぺい（※埼玉・神奈川・千葉）・AI ・リニアモーター

提案内容
・電気自動車を普及させる ・できるだけ公共交通機関を使ってもらえるように、公共交通機関をもっと使いやすくする。
普段から、自分の家の周りの人達とコミュニケーションをさかんにし、一日にだれかが駅を使うなどを決め、使用する人達を増やしたり、駅の量を増やして、簡単に使えるようにする。
バスなどの運転手をコストのかかりづらい機械にして、無人化を進める。自然エネルギーを使った発電所の開発を進め、その中のいくつかをバス会社などに保有させる。
人がのれるドローンを開発する。その場合、お年寄りの人やけがしている人にものれるつくりにする。また、無人で運転できるようにする。集合バスとかをEVに徐々に移し変える。
・むさしの号を増やしてほしい・マップの道の連けいによる道の混雑のかんわ・社宅を増やす・リニアより速い新幹線つくる・駅を増やして、混雑のかんわ・地下道の発達・家ごと移動・タイムマシンをつくる・アニメの便利道具のような空を飛べる道具を作る・せん水かんをつかう・電車を安くする・人が飛べるようにする
・バリアフリーやユニバーサルデザインを加えた路面バスの経路を延ばす。 ・ガソリンを使わないバスをはしらせる。
今 少子高齢化が進んでいる地域も快適な生活が続けていけるように、若者がその地域に行くように工夫する。例えば、その地域にのみりよくを発信するためにネットなどで宣伝をしたりして若者が来れるようにしバスなどの本数が少しずつでも増えるようにする。
電車の中にゴミ箱を設置する。ゴミ箱といっても、リサイクルボックスなどでくり返しペットボトルやカンをちがう形でつかえるようにする。そうすれば、環境にもやさしい交通整備が整えられる。安心して移動できるようになる。
まず公共交通機関を利用する人が少ない町は人口が少ないということなので、その地域の魅力を発信することで人を呼び込むことが必要だと思う。また、その地域の再開発なども資金があれば進めていくべきだと思う。
働く人たちによって駅までのバス、駅から駅までの電車がなくて困るので、通勤時間だけでも電車やバスを走らせるといいと思う。赤字になってしまふところは、地域のほ金や、国のしえんなどをすればいいと思う。
無人のバスや電車を開発、導入する
もし自動車が全自動になったら、タクシーやバスの必要性がなくなり、その乗り物の運転手の必要がなくなるため、「職不足」となってしまうので、その問題を解決するため、全自動ではないタクシーや全自動ではないバスなどをつくり、公共の場での「出会い」を大切にすればいいと思います。
今テーマは「交通」なのでそれについて話しましょう。私は仙台に住んでいた時、CO ₂ を出さないバスに乗りました。小型車で揺れが少なかったです。また、宇都宮や富山でLRTが開業しました。とにかく我々は車に乗らない生活を送る必要があるのです。2050年の未来では運輸業をはじめ、多くの産業が変わると考えます。
ひとがへっても交通機関が無くならないように自動運転を取り入れたり人と人が協力し合うことが大切だと思う。
さいたま市などはタクシーなどが少なく、みんな車を持っていると思うので、移動できる公共の乗り物を増やしても、みんなが車を使うので意味がないと思う。なので市で車の保険を安く、安心にけい約でき、車を買う補助金を消費者に出す政策をした方がいいと思う。
交通機関の本数の減少、廃止は人手不足が原因だと思うから、まず交通機関では人手を使用しないことを目指す。→全自動の車、電車、バスを作ることが必要。
バスを自動運転ではたらかせることで運転手の人件費を抑えるうえに、一気にたくさんの人を運べられ、環境にもやさしい。車で運転する人は、電気自動車にしたり、ハイブリットカーにするなど、ガソリンを使う車を少しでも減らすようにすれば二酸化炭素が減り、環境が良くなると思う。
でこぼこしている道の整備、信号がないところに信号を設置、いつでも明るくなるように街灯の設置、道路標識の改善と新設。
将来は今使っているCO ₂ を増やしてしまう車はあまり生産しないで、CO ₂ を使われていない、今はあまり売れていない車を沢山生産する。そうしたら環境が良くなるし、今は高いCO ₂ を使わない車もたくさん生産することで値段が安くなるので「一石二鳥」だと思う。
普段から地域の人などとウォーキングなどをして、体力づくりをすることで、歩いて移動できるはんいを増やし、交通手段にあまり負荷がかからないようにする。また、遠い距離を移動する際は、自転車または鉄道などを使い、環境に負荷を与えないようにする。鉄道を利用する際は通勤ラッシュの時間帯を避け、人が少ない時間に移動すればよいではないか。
高齢者や体の不自由な人がけんじょう者と同じように過ごせることが必要だと思う。そのためにバリアフリーにしたり、けんじょう者が障害者の助けになるように努力する必要がある。
CO ₂ のはい出量をさくげんして、車などで移動するときに、CO ₂ の事を考えなくてもいいようにする。→みんなが移動(自由に)できる。

提案内容
どんな時も、誰でも楽に移動できるようにするために、多様な移動手段を作り出した方が良くと思います。2050年は何でもリモートでできるようになり、もしかしたら移動の方法は減少しているかもしれないです。
歩道と車道と自転車道路の道の区別をはっきりとし、だれもが安全に移動できるよう、道路を整備する。階段と共にスロープも備え、誰もが障害なく移動できるようにする。
めんきょがなくてもだれでも自動車にのれるよう車を安全にする。バスやタクシー、電車などの運転手をAIロボットにする。
今開発されている「飛べる車」などがあり、地上でも空中でも移動ができる。また、障害がある人などは障害者用の乗り物も開発され、だれもが簡単に移動できるようになる。また、『遅刻車用電車』という電車が、全ての駅に10分ごとに行き来する。遅刻車用電車はスピードがとても速く、遅れた分の時間を取り戻せる!
移動はとても楽になっていくが、そもそも、リモートでの仕事が増えていくため、移動が必要ではなくなる。
車いすを増やしてやすくしてかいだんをへらす。車をとばせてしょうとつ事故をへらす。
バスの廃線が現在進んでいるので運転をAIに任せて人員をまかなえばいいのではないか。
タクシーを自動運転車にしていつでもタクシーを呼べるようにする。また、視覚障害者や聴覚障害者など障害を持った人、高齢者などに自動運転車または、それを買う補助金を出し、移動に困らないようにする。点字ブロックの拡充。段差をなくすなどのユニバーサルデザイン。
じゅうたいなどを防ぐため様々な高さを飛べる、空飛ぶ車を開発する。(まだテスト中だがもうあるらしい)←水素エンジン 直線距離で走行でき、移動時間短縮。AIが他の車との近さ・高さを計算し、自動運転。
かいだんなどを減らしてスロープなどを増やしたり、おとしよりなどのことをはいりょしたつくりの乗り物の、うんえいをする。また、雪やさいがいなどでもうごくような乗り物や電車にくふうしたりする。
今から地球温暖化を加速させないための意識を高める。公共交通機関を活発にさせる。ごみの分別をし、海に流れ出ていかないための工夫を考える。作物を育てる土地をふやす。
岐阜市に導入されているような全自動運転バスを「大宮駅前～過疎地」などで作り、人件費を削るのはどうか。
・バスの車いすの人でも座れる席をもっと増やす。・バスの席をもっと増やす。
道路や線路の整備、電車や車なども定期的に修ふくや整備をすることによって電車のおくれや交通じこなどによるじゅうたいをへらす。
障害者と健康な人のどちらも使いやすいバリアフリーの社会を実現するために自動運転の乗り物をふやし、障害者や高れい者には無償で自動の車いすを国から提供する。
今、タクシー運転手が減っているため、自動運転の安心と安全、便利という3つを進化させていき、タクシーだけではなく、自動運転を取り入れていき、人手不足を解消していくべきだと思います。
過疎化地域にコミュニティバスなどを増やしたり、タクシー、電車、バスの支援金をほ金するなど。
移動する必要をつくる。
・公共交通機関に、もっと、バリアフリーやユニバーサルデザインを取りいれるべきだと思う。 (ノンステップバス・スロープ・ピクトグラム…etc)
地域の人たちと協力し、駅やバスなどの交通手段を募金などで守っていく。
車がコンパクトになり、自動運転という技術が発展し、安心安全な移動をすることができるようになっている。バスや船、飛行機などもすべて機械が行なっている。
点字ブロックをいろいろなところにつける。スロープを増やす。障害者体験できる施設を作る。

提案内容
自動運転が主流になる。スクーターみたいなもので超高速で走れる。
自動車だと個人個人で移動するから渋滞がおきたり排気ガスが多くなると思うから、多人数で乗れる電車などを使う人が増えるように、本数を増やしたり、便利になるようにする。
道を全部エスカレーターにしてみるといいと思います。
レンタルサイクルサービスの場所を増やす。
もっと燃料をクリーンにして、かつ効率もいい乗り物を開発する。自動運転の車があれば事故が減って、長くのることができる。あと、しゅんかんいどうができるものを開発して移動も楽に、クリーンになる。
私は路面電車をつくればいいと思う。路面電車は二酸化炭素の排出量が少なく、あまり大きな駅が必要もないからだ。
駅とかによくある動く歩道などを交通の多いところに設置すれば足が不自由だったとしてもいけるし幅や高さを大きくしてしまえば大量に人が入る。またそれで使う電力などは普通の歩道にふむと電気が作れるものみたいなを設置すればいいと思う。
環境の整備。全てAIに任せはしない。やりがいのある仕事を人に任せ、レジやTVの音声、防衛はAIに任せる。ふみきりを全て、しゃだん機をつける。引きこもりをなくすために、いじめ、教員の不祥事を無くす。町の経済を活発にする。事故を無くすために、公園にボール遊び用の囲まれた空間を作る。自殺をなくす。
故障しない機械を作ってほしいです。また、東大宮駅の階段を大変そうにのぼっている人が多くいるので、エスカレーターを作ってほしいと思います。
盲導犬の機械バージョンのようなものを1つの地域に1つ無償で貸し出して、どんな人でも安全に移動できるようにする！（盲導犬には限りがあるため）
公共交通機関の発展。車などの私物ではなく、公共のもので移動することでCO ₂ の排出を減らす。そのために、電車やバスなどの量を増やして公共交通さかんの混雑のかんわ。
車のかべなどが、太陽光発電ができるようなソーラーパネルがついている電気自動車。
さいたま市内にみんなが行きたくなるような学校をつくり、電車の利用者を増やして本数や種類などを追加する、若者が来たくなるような映える店をつくって電車の利用者を増やし、本数や種類などを追加する。
運賃を安くする 車内の環境をよくする
・過疎化が進んで、電車やバスの本数が減っているところでは、市民が車を運転するタクシーなどの取り組みをすればいいと思う。 ・また、何らかの病気で動けない人のために、移動式販売のトラックを運転する。
ほそい道を減らして、バスが様々なところに止まれるようにする。近くに公園やベンチ+机など、地域で遊べたり、仕事(勉強)ができるところを増やす。バス、電車に乗るときの段差を小さくする。道の途中にある目的地への道のりが分かる看板を増やす。音でも分かるようにする。ふれると音(説明が流れる)のなる手すりを増やす。
道路や電車に透明な太陽光パネルをつける。
鉄道やバスなどの公共交通機関の路線が廃止されないように、路線の需要をなくさないようにする必要があると思う。地域の人口が減らないように地域のイベントをつくるといいと思う。
超電導体によるピン止め効果を用いた車輪無しで動くスケボーが特許の発明にあるため、それを応用すれば、キックボードなどもまさつを少なくして、電車等は疑似的にリニアモーターカーのようにすることができるのではないのでしょうか。
都会では、アンモニアや太陽光を使って発電し、モノレールを増やすと思う。場所もとらず、速く安定しているため、都会に合っていると思う。田舎では、LRTを活用すると思う。モノレールが130億円・地下鉄が200億円、1キロあたりの建設にかかるが、LRTは路面電車の30億円より安く、5連接までできる、電気、バスの進化板のようなもので、田舎に適している。
東大宮駅に高崎線など他の電車も通してほしいです
自動運転用の道路と手動運転用道路をわけたり、されている。

提案内容
めちゃくちゃ安いじはんきを駅に設置する(それで車より電車を使う人が増える。)
都市部だけでなく、近郊部にもバス路線をもう少し増やしてほしい。バリアフリー化は進んでいるので、各交通機関同士の乗り換えももっとスムーズになったらいいと思う。
道を空港にあるエスカレーター的なやつにする。
通勤や退勤の時に、公共交通機関を使えば自動車税や住民税などの免税をすれば、公共交通機関を使う人が増え、車を使う人が減るので地球にも優しい。そして、保育園を増やす、親への支援を充実させれば子供も増え、少子高齢化に歯止めがかかるかも。
子供を産んだらお得になる 育児中もいつもと同額の給料 少子化ストップ 農村の過疎化をストップ→農村の電車も廃止されない
路面電車をつくって、街の景色をよくする上、交通を便利にする。いろいろな種類(色やデザイン)があることで、観光客が増えるかもしれない。また、緑を増やす。植物園(花畑)をつくる。
バスやタクシーを、全て市のかんかつにして、バスは運賃を無しう化し、タクシーも、金額を半分程度にする。こうすることによって、人の往来が増えて、さいたま市が活性化すると考えられる。
社会サービスをふやすべきだと思う。
誰もが移動できるような空中で動くバスや高れい者でも移動が簡単自動運転の車が生み出され、それが全員の手に入ったらいいと思います。また、人間は、AIにまかせっぱなしにせず環境保護を心がけAIと共に生きていけばいいと思います。
SDGsを心がける。ECOを大切に。無駄なエネルギーは使用しない。
高齢者でも安全な運転ができるように、AIがサポートして、高齢者が安全に運転できるような車を開発する。
もっと道路を増やす。もっと車などを量産して安い値段で売る。
どのような世代でも楽しめるようにすればよい。
バス停に行かなくても、自分の家の目の前までバスが来てくれるようにする。 ・車の自動運転を広める。 ・動く家をつくる。
資源をなるべく消費しない、環境に良い街づくりですね！水素などを使えば、良いのかもしれませんが！
バスや電車を行きわたらせ、車を運転できない人や自力で歩行するのが難しい人も遠くまで気軽に出かけられるようにする。
バスや電車を無人化して人件費を削減、必要な電力などはソーラーパネルを駅や電車の上に取り付けたりして大幅な削減をする。
モンゴルのゲルのように折り畳み式のハウスをつくる。なぜならゲルにすれば空き家などを解体でき、車さえあれば家などの持ち運びも楽になる。そうすれば空き家など余分な土地を有効に使える。土地さえあれば気分転換に引っ越しもでき楽になる。
自動運転の車や空飛ぶ車など移動に便利なものを作る。現金を銀行に取りに行かなくてもカードに自動的に振り込まれるものができるようにしてほしい。
なるべく、公共交通機関を使い、若者に結婚させる。→結婚したら、年金が増えるとか…
・車の自動運転化をもっと進める ・道路をもっと簡単に
自分用の小型の乗り物を一家に一台つけば良いと思う。

提案内容
できる限り環境に優しい燃料電池車などのエコカーを使う。高齢化を防ぐためにアルバイトなどを増やし、若者の力を使う。
車を自動運転にする。どこでもタクシーなどに乗れるようにする。
道を全てベルトコンベアにする。自動運転かつ空飛び車を作る。電車を自動運転にする。アニメの便利道具のような空を飛べる道具を作る。
自動運転を進歩させ、どこへでも好きな所へ行けるようにする事。自動車などの乗り物を動かすエネルギーは、風力、太陽光発電でできた電気を使ったり、水素を使う。
全ての人が車を持つ。
歩道を広くしてガードレールなどで交通事故が起きにくくし、安心して歩道を歩けるようにする。
パークアンドライド方式により公共交通機関の利用を促進させ、その収益で公共交通を維持する。
・持続可能な町にするには、植物などの自然がなくなるに程度に町を発展させることが大切だと思う。
環境を大切に、もっとエコにする。あるいは宇宙開発を進め、もっと画期的な町にしていける。
自動で危険を察知するシステムをつくる。
バスや電車などの公共の乗り物の数を増やす。車が走れる道路を整備したりする。
完全自動運転を実現する。バス、電車を無人に！水素供給所？を増やす。電気自動車が充電できる施設を増やす。
・地方の交通網を整備する。（お年寄りに車を運転させない） ・信号に音をつける。
子供がいても働けるように保育園を増やせば少子化が減ると思う。
スロープを増やす。段差を減らす。車いすの人のために歩道を広くするなどの工夫をする。
バスの路線や本数も増やす。電車も一本だけではなく、複数の線路をとり入れたり、大きな駅に便利に行けるようにする。
電車やバスを無人にして、みんな車を使うようにして、排気ガスをなるべくださないようにする。
宇宙旅行計画や、障がい者でも運転できる自動車（例えば足がない人のために車の底を低くしてあげる）などをつくる。
高齢化が進む日本で高齢者でも安全、安心にすごせるように、車にセンサーをつけることを義務化したり、歩道を少し広くしたりすれば良いと思います。
自動運転を普及させる。
おとしよりなどのために手すりをつけたり、車いすの人のためにだんさをなくすようにする。
老若男女、それぞれの人・立場の人に合った交通手段の開発。空気汚染によって移動ができないようになることを防ぐために、CO ₂ の排出、カーボンニュートラルに向けての活動。

提案内容
私たちが持続して使い続けられる町をつくるためにはまずテーマ1で発表した世界で問題となっているようなことではなく身近なものから始めるといいと思う。また、それをつみかさねると世界中で問題となっている環境汚染などの問題の解決にもこうげんできると思う。しかし、今まで以上に世界中で起こっている問題の深刻さを呼びかけなければならない。例）CM、町でのアナウンスその他など
さいたまに空港をつくる！！ 路面電車 自転車が走りやすい道路整備 無人タクシー
AIを使ったVRで地球温暖化や少子高齢化が進み続けたことで荒れ果てた世界を体感できるようなゲームや映画をつくる。ゲームや映画だと、自分の意志で環境問題に触れることになる。それは義務教育のような受動的なものとはちがひ、自然とやる気が起き、持続可能なまちが出来上がると考えた。
・とび車を開発して短時間でいどうできるようにする。 ・交通事故を減らすために、自動車専用の道をつくる。
・交通機関の運転の調整をAIにやらせることで、今までは支払っていた給料を削減することができるので、交通機関の運賃を安くして、より多くの人に使ってもらえるようにする。 ・より多くの人にさいたま市のよさを知ってもらうために、ポスターや旅行のガイドブックにさいたま市を載せたりして「まち」の活性化を図る。
持続可能という点において、環境への影響が少ないバスや乗り合いタクシーを支援するのはどうか。また、高齢者や車いすの方が乗りやすいよう、ノンステップバスだけでなく今のようにスロープを乗務員が出さずとも元からついた、スロープ付きバスができると良くなるのではないかな。
高齢者を救うための老人ホームの設備や回送バスをつくるべきだと思う。また住宅地を増やしてさいたま市内での人口格差をおさえてほしい。
徒歩での移動も大切だが、公共機関を使っの移動も時々して、料金が上がらないようにしたり、その公共交通機関が廃止されないようにして、町の活気を保って人々がいきいきとした生活をおくれるようにすることが大事だと思う。
無人タクシーを大量生産し、格安で提供する。自転車の機能でも空が飛べるようにする。国がバスやタクシーなどの業務にお金を提供し、値段を安くする。VRで実際に移動した感覚と全く同じ感覚を再現して、移動の必要をなくす。
地域内で仲を深められるイベントや活動を行い、地域内の結びつきが強くなるが必要だと思います。そうすれば、地域内を循環するバスがなくなったとしても、同じ行き先の場合、移動することができます。また、人を乗せた回数（助けた回数）だけスタンプが貯まり何かと交換できるという制度にすれば人々のモチベーションも上がり市でお金を減らすことができると思います。
テーマ1で書いたような、集合住宅と医療施設、娯楽施設が集まった施設があると良いと思う。施設内であれば、スロープやエレベーターなどが設置しやすいと思うからだ。集合住宅が作れない地域では、現在はあまり主流でない乗り合いタクシーを自動運転にすることで、台数を増やすなどをして、歩いたり電車にのれなかったりする人々が気軽にりようできるようにすると良いと思う。
数千円利用すると一回無料で乗ることができるなど、乗るメリットを作ったり、公共交通機関があまり利用されない時間は、一部予約制にするなどといった対応を試みるのいいかもしれないと思いました。また、公共交通機関と連携したサービスを作るのもいいと思います。
電車の本数や停まる駅を増やし過疎地域の人口が増えるようにする。また、大宮駅やさいたま新都心駅の役割を明確にし、仕事などの効率化を目指す。
バリアフリーを目指し、高齢者や障害を持った人でも移動しやすくする。町中にごみ箱を置くことで、道端に捨てられるゴミを減らす。道路をより整備し、危険な場所をなくす。
自動運転の技術を進化させてとり入れ、より便利に、安全に移動できるようにする。また、交通渋滞の対策のため、道路の本数を増やし、自動車以外の交通手段も利用させやすくすると良いのではないかと考えている。
バスや鉄道などの主流の交通機関の他、都内で実施されているカーシェアなどもさいたま市で運用できると良いと考える。また、従来の自動車ではなく、ハイブリッドカーや電気自動車を上記のシステムに導入できれば環境にも良いのではないかなと思う。将来的には、自動運転が主流になってくることを想定すると、限られた範囲でも無人バス等が実施できると良いのではないかな。
実用的な移動手段としては無人運転の電車やバスと考えます。または高齢者専用車などを設ければよいと思います。現在、電車の運転士は長時間労働（長くて22時間）が問題になっております。だから運転士の負担を減らすために無人運転は良いと思います。それを利用すれば、人の判断ミスによる事故が減り、さらにその技術を利用して荷物輸送などで無人でできればよいと思います。必要のなくなった運転士には駅の対応などの仕事に就いてもらって駅での作業の効率が上がると思います。高齢者専用車では、普通の電車やバスよりも乗降時間を長くして、高齢者に負担がかからないようにすれば良いと思います。そうすることで、持続可能な『まち』になると考えます。
バス停や本数をふやし、場所や時間帯の幅を広げる。→家から駅までの距離が長い人もバスを使うことで駅が使える。
老人が困っていたら近所の人に乗せてあげたり、タクシーなどをすぐ呼べる環境を作るべきだと思う。バスを予約制にすれば良いと思う。ドローンや小型の車などを普及させて、安く、簡単に移動できるようにする。
同じ行き先の人と一緒に乗車する乗り合いタクシーを作ったり、バスの停留所を増やして、バスで行動できる範囲を広くして、高齢者の移動の負担を減らす。
高齢者の若返りを実現し、誰もが自立して生きられるようにする。

提案内容
地域でのつながりを深めるため、誰もが使うことのできる乗り合いバスなどをつくり、事故の減少につなげるためにそれらの自動運転化を進める。また、環境面での持続可能性もふまえ、電気自動車や水素自動車、ハイブリッド車の購入の際に金銭面での支援などが必要だと思う。
自転車をこいで移動することでペダルの回転を使って発電し、このようにして自転車で発電した電気を電気自動車で使う。
AIや自動運転によって、人手不足を解消する。宇都宮線下り方面は朝（7:30～8:00）の時間帯、利用する人が多いにも関わらず、本数が少ないので増やしてほしい。
テーマ1でもいった通り、ほくは自動運転のバスを導入すると良いと思います。そうすることで事故もへり、運転手など本来の職業を失った人にはせいそう員として再雇用することで失業率を大幅におさえられると思ったからです。また、バスの燃費もよくなり、その分のコストカットができると思います。なので持続可能な「まち」にできると思います。
リニアモーターカーなどの、二酸化炭素をださない環境に優しい乗り物や、エネルギーを全国的に普及させる。また、AIなどを使った自動運転機能を電車にも応用し、運転手などの人件費を削るなどにより、電車の本数が減らないような工夫をする。
自動ごみ箱を設置したらいいと思う。ごみの体積を減らすことで環境を少しでもよくできると思う。LRTをさいたま市も導入してほしい。エコ。それによる事故が起こらないようにAIをとうさいした車を開発したらいいと思う。
車などすべてAIにやらせて、じゅうたいなどをなくす。人が飛べるような物をつくり、車などをなくしかんきょうもんだいをへらす。新しい地球がわりのものを宇宙につくり、そこに移住する。
現在注目されている、「次世代型路面電車」を導入するのがよいと思う。今次世代型路面電車が運用されている都市は、人口があまり多い方ではない。にも関わらず、見込みを大きく上回る利用者と利益が出ているという。そのため、過疎地域に次世代型路面電車を導入することで、移動の困難という課題を克服することができると思う。
電動キックボードのような誰もが簡単に移動出来て、安全なものがあるといいと思いました。そのために、それ専用の道があると良いと考えました。今は、自転車は車道を通らなければいけなくて、車が横を走るとヒヤットとすることがあるため、車専用、自転車、キックボード専用、歩行者専用の道路があると良いなと思いました。
タクシーやバスなどの料金を2倍にして、国内の人にだけ割引券などを提供することで、外国人観光客によるインバウンドを加速させるとともに観光客のためのバスやタクシーを作り、住民と観光客の移動手段を分ける。
ひなん所となっている場所に、モノレールの駅をたて、ひなん所に交通的要素を持たせる。現にひなん所となっている所は、誰でもひなんできるような交通の便が良いところにあることが多いため、インフラ問題の解決につながるのではないかと。
階段を減らす、または横にスロープを設置して、高齢者や車いす等が施設を利用しやすくなるようにする。全ての人が公共交通機関を使いやすくなるために通勤通学者が多い時間の電車やバスの本数を増やしたり、駅のホームのガードレールを全ての駅に設置する。
新幹線を走らせる範囲を増やし、楽に遠くへと早く移動できるようにする。「まち」の外から来る人への税を増やし、「まち」の人々がより安い運賃で公共交通機関を利用できるようにする。
電車やバスなどは人口減少が進むといじ費がかさむので減っていると考えられる。では少ない金額で使い続けられるものを今までの公共交通機関の他に作るのがいいと思う。例えば自転車はかかる金額が少ないのでライドシェアを推進したり、自転車専用のスペースを多くの道に作ったりするといいと思う。
タクシーやバスの運転手が減っているため、自動運転の車を増やし、人件費削減もできる。再生可能エネルギーを使った電車やバスをふきゅうする。
人口減少により、さいたま市でも一部のバス路線などは廃止になる可能性があります。低額の乗り合いタクシーやコミュニティバス等導入することで、運行会社の負担や運転手を補いつつ、移動手段を保持しておくことが大切だと思います。
二階建て以上の公共の建物にエスカレーター、エレベーターの設置を義務付ける。
歩いている。年寄りや障害者などは、専用バスに乗って移動する。駅の近くに、駐輪場などを設置するのを禁止して、ＩＣカードなどで使える駅から１００m位の動く床を設ける。または、店を増やす。
・バスの運転手不足のため、自動運転のバスを導入する ・地球温暖化の対策のために電気自動車や燃料電池車を増やす ・電車のタイヤの見直しなど
地域でバス会社などを建てる。
・バスを多くする・バスみたいな道で走っている電車を作る・電車を多くする・障害者だけのバスを作る
外国人観光客専用のバスを用意する。田舎の駅の周りの道路を整備する。大宮駅のような大きな駅に色々な地方のパンフレットを置いておくことで色々な人に見てもらい、地方の活性化を図る。

提案内容
バリアフリーを都市に積極的に設置する。
公共交通機関が廃止される可能性がある市町村を活性化させたり、その近くの地域専用のタクシーなどを作ったりする。乗りたい時間の要望を聞いて1回でより多くの人数が乗れるバスを作る。
少子高齢化対策、少子化、高齢化、どっちも止めることは今の日本には難しいので、少子化か、高齢化どちらかの対策を手厚くした方がいいと思います。私は少子化対策もちゃんとしてほしいです。
・無人運転の電車やバスを増やすことで人材不足が解消できるから電車などの本数を増やす→満員電車も少しは解消できるかも？・車やバスよりも環境に優しい電車をなるべく使うようにする。
・高齢者、障害者、ベビーカーを利用する人向けのバスと一般人が利用するバスを分けて運転する。（ベビーカー利用向けのバス設計変更など）・タクシーを呼びたいときにすぐタクシーを利用できるようにスマホのアプリなどで場所把握や予約などが出来るようにする。（電車での移動が困難な老人、障害者向け）・駅や町のバリアフリー化を進める。
バスも電車も自動運転にする。
地方ではバスの本数が減ってきていて、高齢者が買い物に行きにくい環境になってしまっている。なので、同じ場所に行きたい高齢者などの自分ですべていつでも利用できる移動手段を持っていない人をまとめて1台の車で送れるようなどこに誰がいて、どこに行きたいのかが分かるアプリを作るのはどうでしょうか。
遠隔操作で電車やバスを運転する。自動運転の導入。ドライバーへの支援を厚く。地域の人は運賃を安くする。
人が足りていないので運転手をAIやロボットに変えたりする。それによって運賃を安くすることができるから、たくさんの人が利用するようになる。そしたら本数も増える。
人の負担がかからないよう、自動運転を利用したバスや電車を稼働させる。
タクシーの値段を下げる。
自家用車だけではなく、バスや電車などを利用することで二酸化炭素を削減し、地球に優しい環境づくりをすることが大切になってくる。
マナーも守れない人のせいで、安全に移動ができない人もいるのだから、警備を強化することで利用者も増える。
電車やバスなどの公共交通機関を減らさないためには、利用人数を維持または増やす必要があります。利用人数を増やすためには観光客に目を向ける事が大事だと思います。例えば、街のオススメスポットを回るバスを作ったり、絶景が見える電車を作ったりすることです。そうすれば観光客の方々やもともと住んでいる方にも楽しんでもらえる良い「町」になると思います。
公共交通機関を利用する人は減り、電車やバスの本数が減少しないように、出発地点から～km以内はバスで行く、などというきまりをつくる。高齢者や、体の不自由な人は例外として、それぞれが移動しやすい方法で公共交通機関を利用できるようにする。
さいたま市内では、バスが大幅に減便されたりしている。さらに、その周りの志木市や、川口市、戸田市、蓮田市などではバス線路の廃止が相次いでいる。これでいいのか？そもそもさいたま市は市役所まで行くバスがない。浦和駅から県庁、市役所を経由し、北浦和駅へいくような路線があるといいだろう。さらに、市でバス線路を持つのはどうか？
バス運転手の給料を上げ、人手を増やし、バスの、線路がなくても、移動できるという長所を活かし、もっと、細かい所まで、バス停を作ったり、急行などを作ったりし、バスの種類を増やして便利にする。また、バスは高齢者も多く利用するため、段作をなくすなど、高齢者にも優しい作りになるとよいと思う。
車などを電気自動車にしたり、電車で荷物を運ぶようにする。トラック運転手さんの負担が減るように、自動運転の車がどんどん広がっていけばいいと思う。電車の運転手さんも、夜は眠くなるから、昼は人が運転して、夜は自動運転にすればよいと思う。
私は高齢化がこれ以降も続くのであれば、高齢者専用バスなど時間帯を決めてそういった優先的なことを多くしていけば、もっとみんなが使えると思います。又、税金で電車を使えるのであれば、もっとみんなが使うかも？
自動運転のバス等を用いて人けん費をさく減する。値段をあげる。
バスを無料にし、政府に運賃をはらわせる。
・自動運転バスなどを導入し運転士の減少に対応する。・地域の魅力を発信して、観光客をよび、産業を発展させる。

提案内容
自動運転のバスやタクシーを導入→バスやタクシーに乗る用のカードを作る
東武東上線の人身事故をなくすといいと思います。←何時間も待つのはキツイです。また、埼京線・川越線と宇都宮線は本数が少なすぎて電車に乗れないので、本数をふやしてほしいです。←2本くらいのれない。（電車に関心をもつための機会を設け、人不足を解消するのもいいとは思いますが。AIの自動運転もあり）
障害を持つ方や、運転免許がない人、高齢になられた方などが安心して移動できる自動運転機能のある車（タクシーなど）をまちで走らせ、様々な人が少ない負担で移動できるようにする。
コミュニティバスを普及させて、住民の移動と同時に観光もできるようにする。
・無人電車やバスで、効率よく人を運ぶ。・交通手段をハイブリッドのように環境に優しいものにする。・駅に転落防止の機械みたいなものを増やしたり、自動運転を発達させ、事故を起こりにくくすれば、スムーズに、安心して移動ができる。→安全装置的なものを中心に。完全自動化はまだはやい気がします。（責任とかいろいろ）
自動車の自動運転化を進めたり、電車の運賃を安くしたりして移動しやすくする。
人の移動に注目して考えると活気ある町が良いと思う。そのために、観光客増加を目指す必要があると思う。さいたま市は住みやすいが魅力が少ない。スタジアムやショッピングセンターを生かして県外や外国からの観光客を増やすことで活気ある町へと変化させたい。具体的にはさいたま市ならではのイベント等を開催するのが良いと思う。また、スロープ等を多く設置し、車いすの方や高齢の方も住みやすい町にしたらさらに良くなると思う。
自動運転の電車やバス、タクシーなどを増やす。
バスや鉄道などの公共交通機関を自動運転化し、本数を増やす。
タクシーやバス、電車などの運転手に国から支援をする。
自動運転の電車やバスを設置して、人手不足を解消する。
公共交通機関がなくならないように、自動運転で駅やバス停などに行けるようにする。また、リアモーターカーが乗れるようになっているかもしれないので、できるだけ公共交通機関を利用する。1つの家庭に1台ずつ自動運転できる車をもち、移動がしやすいようにしたらいいと思う。
公共交通機関を利用する人が減り、電車やバスの本数が少なくなると、その街は不便になり、かえってその街に住む人が減少してしまうと思うので、まずは住みやすい町づくりをして人を集めることが大事だと思う。そうすれば一つの街に人口が集まることもなく、さいたま全体が住みやすい県となる。交通網の不便も解消されると思う。
交通の便をよりよくする。高齢者にも住みやすい街を作る。電車やバスなどロボットが自動で運転することで、本数が減ることや、廃止などはなくなるといった。
自動運転やより良い機種の利用などでいかに低コストで公共交通機関を運営できるかが大切だと思う。
移動を「誰もが」快適に行えるようにするには、将来の交通手段について、バリアフリー化を進めるとともに、その対応本数を増加させることが大切だと考える。埼玉県での移動にはバスがかなりの割合をしめている。だが、少子高齢化により収益が減少すると、本数が減ってしまう。だからこそ、テーマ1であげたような自動化で人件費さくげんをすることがだいじだと思った。
その土地の物産物やいいところを紹介してたくさんの人に住んでもらう。そうすることで鉄道やバスなどの需要が高まる。
運送業等の人手が足りなかったり、AIを導入しやすかったりする仕事に積極的にAIを使い、やがてAI専用の仕事とする。
公共交通機関を利用することで、電子マネーのポイントが増えたり、スタンプラリーができたりするシステムをととのえ、人々の移動をうながす。以上。
①金をかける
電車やバスなどが自動運転にすることで、やとう人を減らし、人件費をやすくすることで、値段を少なくして、びんぼうでも乗れるようにする。

提案内容
お金のない人が道の草などを抜いたらお金がもらえるシステムなど。
スロープ、点字ブロック、放送を増やす。接客する時に商品をさわらせたり、手話を使える人を多くする。
障害者などでも安心してつかえるようなものを増やし、（例えばスロープ・点字・その他）、信号の点滅までの時間を少し遅くしたら少なくとも今よりは移動しやすく、くらしやすいまちになると思う
利用率の高い交通手段の環境の負担や、利便性、利用するのにかかる費用等を改善する。
地上だけでなく空中も活用した乗り物を主流にする。規則などを見直したり、改善したりする。交通の管理をしっかりし、多くの人が安心して交通便を利用できるようにする。
・バスの範囲をひろめる。（バス会社のてっそく）
車両を減らす。（電車の）そして、その分本数を増やす。車ではなく電車で移動するようにする。そのために田舎にも駅を増やす。
逆に都会を少し不便にして地方に人が流れるようにする
けっこん、出産の費用をへらす。子ども作らない夫婦と子ども一人の夫婦は金を県に寄付する。子供二人いじょうは許す。
・電車を少なくして何回も同じところを往復させる（ケーブルカーみたいに）→効率が良いと思う ・車を飛ばす。宇宙に簡単に手軽にいける（火星）
ジムでトレーニングするときに発生する力を使う。（発電）自動車発電 ストレスなどの負の感情によってつくられるエネルギーを使う（再生可能エネルギー）（ストレス発散にもなる） 上記によってエコな生活にする。
川を船で移動する。
国民全員の意見を回収する。
とった税金をつかって整備する。
まちをきょだいなランニングマシンにする
道にエスカレーター
電車の車両数を減らす。
電車の数を減らし、無人電車を運行する。
動く歩道を設ける。どこでもドアを設ける。
エンジンをバイオエネルギーにする。
人が減るため、その分の電車の車両を減らす。
電気自動車を増やす。

提案内容
電気自動車の生産台数を増やす。
乗り物を小型化する。
バスを増やして車を使わずに行く人を増やす。バス停もそれに合わせて増量する。
バリアフリーを発展させる。
AI技術でどうにかする。
駅やバスの乗り口をバリアフリー化
住民税を上げる。
良い町にする。
廃止されないように国が会社にお金を出す。
車を使わず、歩くようにする。
空港にあるような平面エスカレーターが歩道にあったら移動しやすいと思う。
環境にいい車。
バスや、電車、駅を増やす。
税を上げる。人を集めよ。高齢者に配慮。観光地を作る。
路面電車に移行し、車（バス）と電車の良いとこどりをした公共交通機関を作る。・世界のすべてをVRなどで仮想世界に反映し、現実で移動しなくても人に会えたりどこかへ行けるような技術を開発する。
過疎地域の交通網が少なくなっているので、無人タクシーや無人バスなど、人件費をあまりかけずに地方が活性化できるような取り組みをする。定刻通り、大人数で乗車でき、環境にも配慮した新たな交通機関を作る。
ドローンに人が乗れるようにする。道路を拡張して、運転しやすいようにする。
ジムを各地に建設し、みんなの足を鍛える。バスなど必要な時に出たりするようにする。
電車の本数を増やす。
無人タクシーを導入する。バリアフリーを充実させる。
タクシーが携帯で呼べるようになる（もっと普及させる）
・IC工場の技術力の向上が必要になる。・年配者や体が不自由な人に使いやすい道や物を作り、その人達に介護する人をつける。

提案内容
太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用したりすることが大切だと思います。そうすればCO2の排出量が少しは収まって地球温暖化の影響を減らせると思います。地球はみんなの地球なので世界全体が環境問題の対策を考えるべきだと思います。
空飛ぶ車、全自動運転の車（すでにできてる？）を導入し、事故を減らす。子どもと同じように高齢者の方のバス、電車料金を下げ、高齢者の方たちにどんどん利用してもらい、田舎の地域でバス、電車の本数が減らされる事を防ぐ。
必要なのはお金とリーダーだと思う。ただでさえ日本は少子化が進んでいるのにも関わらず、このまま行ったらおじいちゃんおばあちゃんしかいなくなってしまうと思った。とりあえず、足が悪いお年寄りの人の為に、ショッピングカーを定期的に行かせたり、足を丈夫にするためにわざと歩かせるなど。
どの乗り物にも良い点悪い点があるのでたくさんの種類の移動手段があった方が良い。過疎地域に電車やバスを通して利益は出ないし、誰もが快適に過ごす社会なんて理想論なので都市にだけ移動手段を増やせばよい。
機械の自動化に頼らず、自分の足でなるべく移動する。交通機関をなるべく利するために、交通機関をたくさん作ったり便利にしていく。
どの地域にもバスなどの公共交通機関を走らせる。電車は乗る人が多い路線に乗る人があまり多くない駅を少し入れる。
人手が多くかからなくても済むようにロボットみたいな物や無人でも大丈夫な電車を作る。その作るお金を地域の人たちで集める。車移動をメインにして道路を変える。
外出した方が良いと思えるような事をして、適度に公共交通機関を使うようにさせるのはどうか。
少子化や高齢化にならないように安心に子どもを育てられるようにし、人口が増え、電車などの本数が減らないようにする。障害者でも移動しやすい施設を建てる。
地域の人限定の循環バスを定期的な走らせることで混雑に巻き込まれることなく会社や学校に行くことができる。障害者や高齢者も利用できるようなバスは到着すると少し段差が下がり、電車はほぼ地面と平行になるようにしてつまずきを防ぐ対策をする。
SDGsの観点から見ると、排ガスの少ない電車が有効に思える。しかし電車の欠点としてレールの上しか走れないため、バイオマス燃料を使用したバスや、電気で動く乗り合いのコミュニティバスなどが有効に思える。
きれいでいて楽しいまちにする。
脱炭素社会を目指す。プラスチックゴミをださない。分別してリサイクルする。森林を破壊しない。
無人タクシー・無人バス・毎年市の役員が市のためにタクシー・バスの運転士になる。
電車、バスなどの公共交通機関の利用率などをきちんと調べた上で、利用率が低い電車の線の本数を減らしたりすることは良いと思うが、それによって移動できない人がいると困るので、代わりの代案をたてるべきだと思う。それとは逆に、朝や夕方の通勤、通学ラッシュは、利用者にとっても不便だし、鉄道会社側にとってもそれで人身事故が起きたりと、あると思うので、本数を増やすことも考えていいと思う。
ゴミを出さない生活。ゴミもリサイクルできるような物質で作る。
・移動手段である車や電車などをもっと環境に優しいものにする！環境にはいりよすることでずっと使い続けられると思う。また廃止にならないようにその乗り物の良さを動画でまとめてテレビで流したり、キャンペーンや割引制度などを少しもうけるとよいと思う。
車がしんかする
まずはさいたま市に人を呼び込むことが大切であると思う。いくら交通網が整備されても利用者がいなければ、意味がない。
必要な時にだれもが呼べるタクシー。自動運転をすることができるタクシーがあれば必要な時にアプリなどで呼んで、管理者(タクシーの)が必要としている人がいたらタクシーを出してあげる。
駅やバス停、タクシー乗り場を増やしてその地域に住んでいる人が近くて使いやすいと思ってもらえるようにすればよいと思う。。
便利性だけを求めるだけでなく、みんなが使えるように設計する。例えば、バスには車いすが通れるようにする。階段の横にはスロープを設置や、自動はん売機の下の方にボタンをつけて車いすに座ったままでも飲み物を買えるようにする。

提案内容
公共の移動できるものを利用していく。しかし、金がなければそれらにのれないため、金のかせげる環境をつくる必要がある。
少子化対策として、色々な場所に保育園、幼稚園、学校などを作り、子育てしやすい環境をつくる。
各家庭に一台は自動車を所有する。外出する回数を減らしすぎないようによびかける。
バスも増やし、タクシーを少し減らします。なぜならタクシーは賃金が高い。しかしバスは賃金が低いゆえにバス停まで歩くもしくはバス停から歩くという運動にもつながるのでいいと思います。
全交通機関指定席にする。時間指定にして、席が空いてなくて移動できない場合の遅刻OK。
移動しなくても良い町にする。具体的には、リモート出社や、オンライン授業（学校）
若者を対象の中心として労働環境を改革していき、若者の負担を減らす。少子高齢化を止めるためには、子持ちの人たちを援助するだけでなく、未婚の女性を減らす対策をしなければならない。
バスやタクシー、電車のどれが使えなくなっても、対応できるように、本数を増やしたり、快速や各駅停車などの電車をいなかの方でも作ったりして、交通手段を増やす必要があると思う。
鉄道の運賃を安くする。お年寄りも乗りやすいようにバリアフリーのスペースを増やす。
道を増やす。車とか電車の通る道を増やす。
小さな子供をつれた人などのために電車やバスを小型化したモノレールみたいな乗り物をつくること、あるいは同じ公共の機関を利用する人たちが、優しい気持ちで、事情をかかえる人たちを迎えることも大切だと思います。
少子高齢化が進んでいる場所こそ公共交通機関が必要だと思う。都市よりも田舎のほうが少子高齢化が進んでいるので、田舎へ公共交通機関を発達させれば良いのではないか。また、田舎では電車やバスの運転士がいらないと思うので、そのような働き手不足の場所にこそ自動運転技術を広めていくことが大切ではないか。
今のような有人タクシーではなく、無人タクシーを一般の人でも使えるようにする。
建築の条例を改正する。累進課税の制度をなくす。税率を下げる。大企業を取りいれる。
環境に優しい商品を沢山つくる（ビニール袋を海そうで作ったり？） バス、電車をもっと発展させる
より便利な交通機関をつくる。列車の本数を増やして利便性を重要視する。
都心とかあるていど発達しているところはなんとかできるけど田舎とよばれるところは働きたいとも思わないしおとろえる一方。ショッピングモールをたてまくればいい。
バスを交通手段として普及させる。 車を買うように推進して補助をする。
エコを心がける。公園を増やす。家を増やす、高さを上げる。AIを普及させる。家の価かくを下げる。
電車の本数を増やす。環境にやさしい物を使う。
バスは捨てる。その分のコストや人員をできるだけタクシーに使うってタクシーの台数を増やし、その分タクシーの移動料金を安くして利用しやすくする。
それに関する人々の環境改善。新たな移動手段（電動スクーターなど）をもっと活用する。（学生へこうざ会を開く）

提案内容
ます車をガソリン車を今より減らす。そもそも人口減少で公共交通機関機関の本数が減るなら、人口減少をとめてからの問題だと思う。高齢者が増えるなら、高齢者でも乗りやすいようなつくりにする必要があると思う。
・自動車にのると排気ガスや渋滞の問題があるのでなるべく大人数で使えるバスや電車を使うようにする。 ・なるべく徒歩でうごく。 ・バスや電車の本数をふやす。
駅やバス停をより快適なものにする。地方に人が戻ってくるような特産品などをみんなに知ってもらう。無人運転で費用を安くする。
実際にイギリスでは導入が検討されている歩くと少しヘコンでその力で発電する設備を人ごみのところや、市庁舎に入れて、それをアプリなどと連どうさせることで楽しく、電気を発電する仕組みを入れる。その電力で市庁舎などの電気を補えれば、持続可能になるでしょう!!
新しい電車を作ったり、バスの本数を多くできるように専用の道を作ったりする
市内のあちらこちらに、東京とつながることのできる地下鉄を作れば、移動が便利になる。
①電車→武蔵野線などの止まりやすい路線の整備、改修をするべき ②バス停が混雑な原因になりやすい→少し外れたところにバス停を作る ③重要な場所(駅など)に行かないと移動がしにくい→農村部や住居近くのバス路線を作るべき。
『誰もが移動できる=持続可能なまち』という考えが少し安易だと思う。もっとしっかりとした問いが欲しいのだが。
多様性を受け入れる
新路線を作る。(埼玉高速鉄道 浦和美園、岩槻經由蓮田延長のように)
大きい駅を作り東京のような交通機関を発達させ、新路線を作る。
観光客や移住者など外部から人を呼びこみ公共交通機関の利用につなげれば良いと思う。また、公共交通機関の沿線を開発し、需要を高めると同時にバスターライバーの賃金を上げるなどして注目度を上げていくことが大切だと思う。
エコ。
最近、バスやタクシーの運転手が減っていると聞きます。バスやタクシー、電車は今の人々にとってなくてはならない移動手段の一つです。移動できる環境を維持していくためにはやはりこの問題を知ってもらうだけではなく地域や政府がもっと積極的に取り組む必要があると思います。また、環境を保つにはやはり人々の協力が必要なのでもっと知ってもらいもっと協力的になってもらう必要があります。
バスやてつどうを整備する
私は誰もが移動できる持続可能な『まち』を作るために、一度で多くの人を運ぶことができ、道路のように渋滞の可能性もない自動運転の電車を走らせることができれば、過疎地域でも人々が生活をこれまで通りにすることができると思います。
自然を破壊せず、現実的かつ可能な範囲で残していく。社会保障を充実していく。
ステップが少なく自然にやさしい路面電車。
・ユニバーサルデザインに特化した路面電車を作る。 ・顔認証での改札通過。
民間のタクシーをふやす
・栃木のLRTのような仕組みの路面電車をつくる
みんなの意識を変えてゆく。

提案内容
また、会社ではどこにでも行けるドアの開発にも力を入れており、あと１０年で開発できると開発担当が申しています。
電気で動き、自動運転のバスをつくり、市内を走らせる。できる限り、安い値段でそのバスに乗れるようにする。
無料の路面電車を税金でつくる。
増税をして税金でバス等を運営する。
交通整備、とくに皆が使うもののあまり整備されていないところを整備する。また、交通整備の際に植林などを進め、持続可能な社会、『まち』を目指す。
自然を大切にし、地域の伝統を受け継いでいくと、持続可能な「まち」になると思う。
道路をほ強し、自動車が通れるような町をつくる。
市バスを運営するために地元の人から税をとる。
量子テレポート 倫理観の壁さえ乗り越えれば(絶対できないだろうけど)何十年後かには実装できる
人と人とのつながりを今以上に強くする必要があると思う。
体が不自由な人でも移動できるようにバリアフリーを整えることが重要だと考える。日本全国に新幹線を開通させどこにでも移動できるようにする。障害者に対する考え方をよくすれば良いと思う。
バリアフリーの達成→人々の先入観をとりのぞく必要がある。スロープ付きののりものをふやす。
自動運転のバスやタクシーを導入する。現段階では難しいかもしれないが、人が乗れるドローンの開発を進める。安全で、子どもや高齢者でも簡単に乗れるような、電動キックボード型の乗り物を開発する。
移動が便利になっていくとバスなどがへってしまうが、タクシーや電車を使う人がふえると思うから、電車賃やガソリン代を安くした方が過ごしやすくなると思う。
宅配サービスの活用
かんきょうもんだいをかいけつする。
まずCO ₂ を減らす。
SDGsの実現を目指す。
日本のベンチャー企業の技術を生かす。
高齢化が進んでいるので、高齢者に優しいまちづくりをする。
古き良きあの頃のように地域の連携を高め、車を持っていない人にも周りの人々が手を差し伸べ、乗せてあげられれば素晴らしい。公共交通機関を優先的に自動運転化し、コストを減らすことも必要だ。
水素バスや、路面電車の使用をする

提案内容
車の自動運転化、電気自動車の普及。
タイムマシーンを作ることで、時空を移動でき、持続可能だった時期に戻り、そこで暮らす。
電気自動車を無料で使う
誰でも涼しいと思えるような町にする。
現実的かどうかを加味せずにと考えると、「空の車」と言われるヘリコプターを導入する。交通渋滞が軽減される。ただ、費用面など、懸念すべきところはたくさんありそうだ。（単純に）道路の幅を広げる。歩道を独立させる（車道からゆるやかに乗り上げる。植え込みなどではっきり区別）所を増やす。公共施設へのスロープ、手すりの設置など。
格差を減らすために生活保護の条件を上げる。最低賃金を上昇させる。非正規雇用者の待遇を改善し、労働力を上げる。所得税の見直しをして、積極的に経済活動をできるようにする。
栃木県宇都宮市の「LRT」というものを取り入れるべきだと思う。私もそれに乗ったことがあり、自動車を運転できない人もどんな人も利用していた。宇都宮市を中心に工業地域や高齢化している町に便利だと思う。
バスの本数を増やす、とか、行き先を多くすると良いと思う。特に大宮駅などからさいたま市の外の方まで走るバスもあって良いと思う。
・駅を増やす。（電車に乗る人の為に）・池袋にIKEBUS（イケバス）という物があるのでそのような物を作る。（普通は赤いバスで黄色を見るとラッキーと言われているしバスの見た目が普通のバスと違うのでみんな一回は乗ってみたいと思っている）・タクシーを安くする。
誰もが移動できる、持続可能な「町」を作るためには自動運転の活用が必要だと思う。自動運転を活用することで交通に使う乗り物を運転する人を減らせる。また、自動運転を取り入れた場合不注意で起こる事故が無くなり渋滞が起きるのを防ぐこともできる。よって自動運転を活用するべきだと思う。
在宅ワークをする人への支援の強化。公共交通機関の廃止の理由の一つは過疎化です。それを止めるために在宅ワークをする人へのサポートを強化することで、都市部の世帯数を減らしていくことが重要なのではないかと考えました。
交通機関（バスや電車など）が減ると、高齢者が自家用車を使わざるを得なくなり、交通事故が増えてしまうかもしれない。だからタクシーのように目的地まで行くことのできて、バスのように複数人が乗ることのできる交通機関がうまれるべきだと思う。
「まち」の移動手段を確保、保存するためには誰かがそれを利用し、需要があることをアピールしなければならない。つまり、移動手段、交通機関が人々にとって便利なものでなくてはならない。その為、「まち」がどこからどこへでも行くことができるタクシー（ライドシェアのようなもの）を運用すると良いと考える。
場所ごとに特色があり、人々が地方へも行きたいと、思えるもの、こと、街をつくる。また、バスの本数などを増やす。さらに、自然を壊さず、排気ガスなども出さないように配慮した街。東京などを真似しない方が良いと思う。
水素エネルギーなどの、エンジンを動かす「ガソリン」を持続可能な物に代えれば、車やバスなどはとても良いと思う。それは全ての移動手段において同じことが言えるけど、「誰もが移動できる」という点から考えたら、車、バスなどの方が良い。
路面電車や、タクシーなどの発達により歩かなくても良い社会になってきてしまっているが、生物は運動することが大切だと思うので国が人々に体力づくりの大切さをしっかりと伝えて、何か人々が運動しようと思えるような政策をつくり、人々がみんな年をとっても歩けるようになってほしい。
移動手段の増加に伴い、道路交通法の更なる充実が望まれる。より安全な暮らしにするために、道路を広くしたり、運転手の視野が広がるような道の整備も必要だと思う。なので、市の資金のうち、交通整備費への使用の拡大が必要である。
持続可能なまちにするためには、地域社会の活性化をするべきだと思います。少子高齢化が進んでいるうえ、若者が都市へ行ってしまうます過疎化が進んでいる地方では、地元の人々がその地域の魅力を全国に発信することで、その地方に魅力を持った人々に移住してくれるかもしれないと思います。そして地方でも人口が増え、移動手段が必然的に増えると思います。
移動できる環境を維持するには、地域の人だけでなく、人口密度が高く発展している町などに協力してもらったり、いろんな人、機関、物の手を借りて、支え合っていくことが大切だと思う。また観光などのように、別の目的で人を集めることで活性化させたり、SNSで発信したりと多種多様な視点からできる事を考えて、町を少しでも知ってもらうことも大切だと思う。
バスを自動運転にして、運転手不足を解消する。そのバスは地面と車の下との距離を短くし、高齢者でも乗りやすいバスにする。車内にはユニバーサルデザインの物を多く設置し、誰もがわかりやすい表示などにする。
安全性を確保できるならば自動運転を活用するべきだと思う。電車の車両が10や15両ばかりの理由が気になる。20両にできないような理由があるのだろうか。今実際に行われている自転車への貸し出しはとても良いアイデアだと思う。より普及することができれば良いと思う。そのような職業に就く人が増えるように政府からの支援は必須だろう。
現在の移動手段に加え、一般人でもできるタクシー運用や自転車のシェアなどが必要になってくると思います。使用者が少なくなると廃止してしまうことは仕方がないことだと思います。なので、最近少しずつ実用化されている自転車や車のシェアサービス、一般人でもできるタクシー運用が必要だと思います。近くの駅やスーパーなどが遠い人達に向け、今までの公共機関に代わる新たな移動手段を考えるべきです。

提案内容
自動車と同じように使える小型の飛行機が普及していれば移動手段としてはとても楽だと思います。長距離の移動がとても早くなりますし、何よりかっこいいです（笑）無人運転機能が付けば、（車やバスも）よりたくさんの人が交通手段を利用し、生活が楽になります。
まだ車を運転できる現役世代の方々が買い物や病院に行く際、同じ目的地に行く高齢者を一緒に乗せていく「相乗りボランティア」をするのはどうでしょうか。ボランティアに登録してもらい、「今日は〇〇さんが△△さんを乗せて行ってね」などと当番制のように動いていけば、誰もが移動できる「まち」づくりができると思います。
地方の地域も活性化させる必要があると思います。今は東京一極集中が問題になっているので東京以外の地域をもっと盛んにした方が良いと思います。そうすることで南海トラフなどが起きた場合でも、地方にある程度人々が移住していたら被害も抑える事が出来ると思います。
高齢者でも簡単に移動できるよう、バスやタクシーなどの乗り物の高さを低くすれば良いと思う。また、無料の地域バスのようなものを走らせたら良いと思います。
市が、自分で歩く事が困難な方々に無償で車いすや杖を貸す。（もしくは補助金を出す）公共事業として利益を目的としないバスやモノレールを走らせる。
二酸化炭素の排出量を抑えたバス、自動車、電車が当たり前のように使われ、かつその乗り物類に太陽光パネルを設置することでその太陽光を使用した電気を作りエネルギーにするようなシステムを使うのが良いと思います。これにより、充電や補給の必要もない完全にエコな移動ができるからです。
公共交通機関の利用料金を中国みたいに安くする。地下鉄をもっとたくさん作る。子どもや高齢者が安全に利用できるように、全てのホームに安全ドアを取り付ける。
今、自動運転技術というものが世界中で研究されている。その技術をより安価に、手軽にすることができれば、誰もが移動する事が出来る。また、人間が自然の大切さに気付き、自然の保護、回復に力を入れれば、持続可能な社会になるだろう。
自動運転車の開発を進めることで 誰もが事故なく安全に生活できる町になると思った。そのため、初めて自動運転車をこう入する人への割引や、買った人に何かに使えるポイントなどを配布することで自動運転の車を推し進める必要があると考えた。
その地域の人々が定額制、または無料で利用できる無人タクシーなどを整備することで、高齢の方や、子どもを連れて買い物をした人などが気軽に移動できると思う。今販売されている車の中にも、一部の運転を自動化できるものもあり、着実に自動運転技術が発展しているので、事故が起きたときのための法などが成立すれば、無人タクシー実用化の未来はそう遠くないと思う。
バスの本数を増やすと温室効果ガスが多くなるため、CO ₂ に配慮したバスの本数を増やし、お年寄りの方々がすわれるよう座席を増やしていったらいいと思います。電車があまり通らない地域にバスを設置することを提案します。
安価な量産型の乗り物をつくる。自動で移動するくつ。転送そうち。
最近ではバスの運転手などのなり手が少ないので自動運転のバスを導入する。高齢化で移動しにくい人も増えるため、ドローン配達などのサービスを提供する。
二酸化炭素の排出がない移動手段に切り替えられるように、市や県、国が支援する。まち全体に通路を作って徒歩での移動を推奨する。
高齢者と若者でお互いを支え合っていくことが大切だと思う。個人の話だが、私はあまりみんなに気を使ったり、空気を読んだりすることができないので持続可能なまちにするために、今から支え合う気持ちを大切に過ごしていきたい。また、自分くらい別にいいという気持ちを持たずに、社会に貢献するという意識を強く持ち、行動する。
バスや電車などの集団で一度に移動できる交通手段の利用を町が推奨し、CO ₂ の排出量を減らす。自動車専用の道を設け、歩行者や自動車が安心・安全に移動できるようにする。公共交通手段の運転はロボットに任せ、今後の労働力減少への対策をとる。
人口が少ない地域の人々は、人口が多く、物流が盛んな地域の方より交通手段が限られてしまうので、うまく人を分散させ、様々な地域で交通手段に対する一定のニーズを保つべきだ。
交通の役割は、鉄道やバスなどの中で、通勤や通学や旅行の手段であるのと同時に、今まで駅舎にあった券売機の機能が 交通と融合し、旅程の急な変更や計画発生にも対応できるようになるようにすればいいのではないかなと思う。また、各交通が通勤・通学における速達性ではなく、沿線駅での観光の豊かさや魅力を発信する方向になっていけばいいと思う。
高齢者になると事故を起こす確率が上がるので、高齢者の方に車を運転するのではなく、公共交通機関を利用するよう呼びかける。
AIが搭載されている車や小型飛行機などを開発し、またそのエネルギー源を水素エネルギーなど従来のものに比べエコなものにすることで持続可能な『まち』にしつつ、誰もが安全に移動できると考えた。
・物の輸送や店舗など、人でなくてもできる仕事を機械化し、人にはその代わりに、仕事の帰りに車の乗り合いをするなど、運転する人を増やす。または、1人でも移動できる自転車などを普及させ、安全に乗れるように道路や法の整備をする。
利用者が減少している公共交通機関が何か利用者にメリットがあるような企画をすれば、利用者も増えると思います。

提案内容
公共交通機関が減少してしまうなら個人で乗り物を所有すると良いと思います。自動車だとかなり高価なもので人々が所有するのが困難の可能性もあるので、電動スクーターなどを持って身近に感じられるように普及する。
自動車シェアリングや電動スクーターなどを導入する。地域の人でシェアしながら活用していく。お店の近くや民家の近くに導入し、できるだけ幅広い人々が使用できるようにすれば、便利になると思う。
ガスを使ってしまうと、地球温暖化が進んでしまって環境汚染にもつながってしまうと思うので、充電式や電池式などにすればいいと思う。
地域間で支え合えるように、その住民の自家用車でどこか行きたい人、目的地がある人を乗せて、公共交通機関を使わずに移動できる→マッチングさせるアプリ開発。ドライバーにも報酬を用意。
もし、少子高齢化が進んで人口が減ってしまったら、鉄道の本数が減ってしまうという心配があるため、街が持続できるように、排出ガスを出さないバスなどの交通網を増やしたらいいと思いました。
移動することが困難な人を移住させ、居住区、農地、工業地帯に分割して、それぞれ、一箇所に集めることで公害がなくなり、移動が困難な人もいなくなる。
福祉施設を充実させる。子どもの安全を守る。
自動運転の技術が求められると思う。運転手が減ったり、運送業の労働時間問題もお客様と直接会うところ以外は特に自動運転で無人でもよくなったらコストの削減にもなると思う。
自家用車でも他の人を運ぶことができるサービスを始めていくべきだと思う。
各家庭に1台以上の自動車を持つことを義務とすると良いと思います。自動車は自分の所有物のため廃止されることはないからです。そのために運転免許を取得するための費用を安くしたり、自動車を買いやすい環境を作ったりするといいと思います。
市民からバスのための資金を融資で集める
住民全員からお金を集めて、無料で乗れるバスを提供する。道路を増やして、人の往来を増やす、そうすることで町が盛り上がり、交通網もどんどん増えていくのではないかな。
公共交通機関は廃止すべきではないと思う。自動運転の自動車が作られているのだから、電車やバスも自動運転できるように作り直す。
・二酸化炭素をあまり排出しないハイブリッド車や、電気自動車を使う。・バイオエタノールを利用してこれらの車を作る。
地球温暖化の対策をとる。
交通網を広げる。誰もが行ってみたいと思うすごい「まち」づくりをする。各世帯に車を一台も出せて、定期的に使ってもらう。みんなで寄付をし、お祭りを開催し、誰でも来れるようにする。
現代に存在する量子力学を利用して人間及び物の瞬間移動技術を確認することで、誰もが移動できる街になると思います。今の時点では非常に小さい物であれば量子力学を用いる事で瞬間移動させることができるので、将来そのようなことが実現するのは不可能ではないと思います。次に、仮に瞬間移動できるようになれば、自由に時間にとらわれずに移動できるので、誰もが移動できる街になると思います。
「空飛ぶ車」の開発 現在、開発されている空飛ぶ車は自動運転であるため高齢者も安心して運転できる。渋滞の解消やタクシー不足の解消になる。空飛ぶ車に関する法整備はまだされてないかな？空飛ぶ車を実用することができたら、持続可能、人不足の解消に大きくつながると思う。
廃棄される予定の油や植物由来の油を利用することによって結果的にCO ₂ を排出する量を減らすことができる。空の交通機関を作ることによって渋滞の解消につながっていると思う。
過疎化が進んだ地域は、その地域にしかない魅力を生かしたイベントや宣伝を行い、人が来るようにし、インフラ整備をする。
自動運転機能の付いたタクシーを流通させることで、誰もが気軽に利用できる交通機関にすると良いと思う。また環境の良い車を利用することを主流にすることで、環境悪化を防げると思う。
公共交通機関の運転手をAIにする、自動運転を導入する。家と家、建物と家を全てつなげておく。

提案内容
バスや電車が少ない地域などで本数を増やしたり、人数が少ない分バスを小さく電車の車両を少なくしてできたお金の余裕で運賃を安くすれば、いろんな人が移動しやすくなる。
自転車シェアリングをもっと気軽にできるようにする。小さめのバスを増やして、バスの運行を増やす。
バス・電車の運転士の人数を増やす。そのために、バス・電車やそれら以外のところでも、運転士募集中などの人数が増やせそうな広告をはる。また、それらに乗る人々も増やす。そのためには政府が積極的に旅をするメリットや旅特典などのようなものをつくり、旅をする人の人数を増やすことで、それらに乗る人数も増やしていく。
老後の旅行キャンペーンのようなものを定期的開催し、過疎地ほど割引額を高くして、公共交通機関を使うようにして、廃止を防ぐ。
埼玉県民共通のカードを作り、埼玉県の駅やバスを無料で使えるようにする。
バスの本数や電車を増やしてCO2の排出量を減らす。
そもそも移動しなければならないという概念を捨てるべきだと思う。
タクシー代や移動できるものにかかる料金を県が全て負担する。
人が少ない状態で、大勢が特定の時間に駅に来る可能性は少ないから、使われなくなった線路を使って一人用の乗り物（動力は昔からあった電線から）に変えれば移動効率が良くなると思う。
最先端のAI技術を開発し、空飛び車やバスなどを作って、誰もが簡単に移動できる手段を生み出す。
イベントなどをして公共交通機関を利用する人を増やし、電車の本数を増やすこと。
タクシーなどを人が運転するのではなく、自動運転でも安全に走行できるようにし労働を減らす。また地域全体でそういった自動運転のできるタクシーを呼べるアプリを普及させる。
車いすの人でも乗れるようタクシーの座席を広くする。バスの本数を増やす。市内の各地に休憩スポット的なものがあると良いと思う。
足腰の弱い人々も利用できるように、LRTのような感じに、ドア位置を限りなく下げる。また、目の見えない人も利用できるように、停止位置を分かりやすくする。（点字ブロックや車外スピーカーなど）
自動運転の車を普及させる。自動運転の車が普及すると、事故が減り、安全な世の中になる。
ペロタクシーやバイオマス燃料を使ったバスを走らせることでSDGsにも配慮出来る。
市議会がもっと頑張る。
歩道にゴミ箱とリサイクルボックスを置き、ポイ捨てを減らす。市ごとにその年、その月の目標を決め、市全体で取り組む。レンタル自転車や車いすを設置する。
埼玉のローカルフードや伝統工芸など、その土地ならではのものを途絶えさせずに、唯一無二の町とする。また、ITなど今必要で重要とされているものを重点的に扱っていった方が良いと思う。
横浜にあるようなロープウェイを作る。渋滞を防ぐことができたり、上から町を眺めることができるため、街の事を良く知ることができたり、上から見る景色を楽しむために草木や花々を植えることが良いと思う。
電車やバスの運賃を安くして多くの人が利用しやすいようにする。
車が運転できない人のためにも自動運転の自動車がもっと普及すれば良いと思う。バスも運転手の減少が進んだとしても自動運転ができれば多くの本数出せると思う。

提案内容
太陽光で動くAIが搭載された乗り物があればいい。
車の機能などを進化させて、車の普及率をあげれば、バスや電車が少なくなっても困る人は少ないのではないか。また、今は貸出自転車や電動キックボードもある。
リサイクル施設の増加。ペットボトルの空の容器10本で新しいペットボトル1本の引換券と交換する。ゴミ処理で出たもの（灰など）から新しい資源を生み出す。
町に住んでいる自動車を持っている人が、高齢者を乗せて、目的地に連れて行き、高齢者を乗せて行ってくれた人に町で使えるクーポンなどをあげる仕組みを作る。それを、宅配サービスのようにやりたいと思った人がやりたい時に出来るようにする。
埼玉高速鉄道では近年、赤字の傾向がある。SRは運賃を高くするなどして対策を進めているが、これでは利用客数が減り、逆に赤字が進んでしまうのではないかと考えた。そこで埼玉県さいたま市が支援して、浦和美園から蓮田まで延伸することで埼玉県の住宅地から東京都の中心地まで地下鉄を通じて効率的に行けるようにする。
再生可能エネルギーの発電効率を上げ、バスや電車などの公共交通機関のエネルギーに利用する。また無人運転を進め、公共交通機関の本数が増える。
自動運転できる車があると良いと思う。排気ガスを出さない自動車があると良いと思う。
数車線を上空で跨ぐ大型バスを開発する。費用は掛かるが車を追い越せるので時間や人数の面において優れている。
オフピーク通勤と自転車専用道路の設置をする。
保育園、老人ホームを整備し、税金の量を減らし、マネーストックを増やす。
めっちゃ早い移動手段
外出する時は空飛ぶ車。外の空気にほとんど触れることはない。
市民の行動エリアを制限する。
大手のバスやタクシーの会社以外の個人の会社をもっと有効活用すれば良いと思う。前テレビで個人会社がスーパーまで自力で行くことができない高齢者を車で送迎するという活動を見たのでそのような活動をもっと支援し、広げていったら良いと思う。
公共機関を安価でより遠くまで行けるようにする。また、大きさも大きくし、一回でたくさんの人が乗れるようにする。
道路を広くして、交通量を増やす。
個人事情でタクシーなどができるようにする。運転を自動化して遠い場所にも行けるようにする。
電気自動車やハイブリッドカーなどを増やして、環境保護に取り組む。
自然の中のレジャー施設を作り、地方を活性化させる。高速道路に橋を架け、混雑を避ける。
・どこにでも行けるドアを開発する ・空を飛ぶ車を開発する
自動運転の車やバス、電車の導入を進め、安全性などの機能を確認すれば、人が居なくても動かせるので本数が少なくなることはないはず。
町全体を空港にある平らなエスカレーターみたいなものにする？家に帰れないと困るので上空に作る。

提案内容
動く足場の導入。
人の流れでは地方のバスや鉄道の設備投資と観光収入に力を入れ、地方への国税配布を増やし観光設備を整えていく。また、環境面にも配慮する為、ハイブリッド車や電気自動車、また近年注目されている水素自動車の導入を増やしていく。
移動しやすい町とは、公共交通機関が多いということだと思います。その数が減ってしまう原因である少子高齢化をなくすべきだと思います。政策としては、例えば「結婚して子供を産んだあとの福祉やサービスを厚くする」や、「子供の数に応じて、お金をあげる」などの子どもを産んだら、メリットが生まれる政策を追加したらいいと思います。
電気自動車を増やす。
空飛ぶ車やタクシーを使用する
優先席に座るべき人が、しっかり座ることができる安心感のある電車にする。駅のホームに行くために、階段やエスカレーターではなく、エレベーターなどの設置も多くなる。(車イスの人も使いやすい)
まちを車にする
スーパー、学校、病院、仕事場などを市民が歩いて行ける距離に設置する。このようにすることで、車や電車などを使わなくなると考えられる。
道路の整備
交通の便がない地方にも道路を通し、人が行き来できる土地で発展をうながす。環境問題の観点から、再利用可能エネルギーで走ることができる交通機関を増やす。ドローンの発達により、交通の発達していない土地にも物資を届けられるようにする。
バス・電車の利用。動く道の設置。
これからの時代、車、電車以外にも外を飛べる車などもこれからは発展していくと思う。そのために、出来るだけ早く新しい交通が出来るために早く交通を整備することが持続可能な町になれると思う。
歩道車道の整備
持続可能な「まち」にするために僕が必要だと思うのは、無人の交通車です。今無人自動車を開発中ですが、これが、どの交通機関にも使われれば、いろいろな人は楽に移動できるし、老人も自分で運転する必要がないので楽になります。
バス停までいける立ち乗りの電動二輪車を設置する。
家から直接移動できる土管を設置すれば良いと思いました。多額な費用がかかりますが、皆さんが楽できます。でもあまりに現実味がないので、他の案を出します。駅を広くし、ショッピングモールなどをつくる。多くの駅で、今、巨大化が進んでいます。しかし田舎の駅の多くは駅のホームが小さかったり店もあまりないです。とにかく、カフェや、ファストフード店、寿司屋などをビルの中に入ればたくさんの人がきます。
利用者が少ないところでは、利用者が必要な時だけインターネットで車を呼ぶ、タクシーを主に使うようになると思います。私の家近くの公園では自転車誰でも使えるように貸出しています。そのように高齢者や子供でも乗れるような自転車や小型の車のようなものを設置して移動するのもいいと思います。
高齢者なども使えるようなサービスを増やし、これからも使い続けられるように整備していくこと。
人件費をへらすために、無人で動くバスや電車を使うことによって、地方などではむしろ今よりも交通が使いやすくなっていく。
高低差をなくす
道路の整備、東京の一極集中のかい消が大事だと思います。
バスをすべて自動運転にして浮いた人件費をエンジニアを雇う費用にすることによって人を減らす。

提案内容
・ 混雑しない交通手段を作る ・ 電車のちえんや混雑を減らせるようにする
公共交通機関を存続させるための税などを作る
信頼性の高い安価な自動車型ヘリをつくり、低中高度の自由空域を飛行できるようにする。
日本の中で東京などの大都市が過密化していることから、地方にも発展できる都市をつくり、地方が廃れないようにする。
無人運転にして人件費を減らす。
東京の人を過疎地に送る
電車を増やす
駅の区画でポイントカードつくる。
歩く。市が金だして市バス走らせる。
自動車をもっと使えるように道路が整備されていないところを整備する。また、自動車の使用量が増えると地球温暖化が進んでしまうので電気自動車の生産量を増やす。ほかにも高齢ドライバーの事故を削減するために電気で動くタクシーやバスを走らせ、タクシー会社にお金を渡し、タクシー料金を少し安くする。
人材不足の解消
電車やバスを作る。
道路整備をしたり、電車の本数を増やす。一極集中を解消する
東京一極集中を解消し、地方の道路整備をし、インフラを整えと良いと思う。
人口が少ない所の交通量を増やしても人件費の方が多くかかりそうだし、人々を人口が集中するところに移動させるのもちがうし、線路をせいびするより道をせいびして車移動で良いと思う。
・ 田舎にも高速道路などを設け、道路を整備したら車で移動しやすくなるのではないか。(高齢者でも安全に運転できるように自動運転にする。 ・ 運賃を安くする。)
バスを多くする。ヒッチハイク！
電車等の都会と田舎の格差をなくしていくことが持続可能な『まち』につながっていくと思います。
・ 道路整備（たいらにする） ・ 高齢者の公共交通機関の料金を無料にする
空飛ぶ車をつくる。 空での交通機関をつくる。
自動運転の自動車の開発をすすめるべきだと思う。そうすれば交通事故が減り、だれもが安全にかつ自由に移動ができるようになると思う。
個人タクシーを増やす。（タクシーは電気車で！）（アプリなどで呼べるようにする） 個人タクシーは自分の時間で働けて、楽な上、収入も全て自分に入るのもうかる。また、今は個人タクシーになるには大変だがもう少し基準をゆるくしてもよいと思う。

提案内容
道路せいび（田舎と都会での差をなくす）
道路全面動く歩道
政治家などの、日本国民の「代表」の意見ばかりをうのみにするのではなく、国民一人一人の意見を国民とうひょうなどで聞くのが1番いいのではないかと思った。紙で提出するのもいいが、「インターネット社会」になっているので、SNSで1人1票などして、きめるのがいいのではないかと思った。
交通手段には今のまま手を加えず受け継いでいく。
電車の路線をへらさない
車に人工知能をもったサポートAIをとうさいし、車が運転できない人からいろんな人までが運転できるようになること。
誰もが移動しやすくするために、バリアフリーを取り入れた電車やバスの製造を増やしていくことが良いと思う。また、AI技術が進歩していると思うので、AIの力を借りてより精度のよい、絶対に事故をしない自動車やそれをより実現させるためのAIの管理する道路を作ったりする。
人口減少で路線バスなどが廃止されつつある。なのでカーシェアを使って支え合っていくべき。
少子化対策と、公共交通機関の無人化を進めて人件費を削減する。そのために、子育ての支援金を抽出する。
過疎地域の都市開発を進める。
少子高齢化を止めるには保育園やたく児所を増やして、働きながら子育てしている人が仕事と子育て両方を安心して行えるようにすることが必要だと思う。価格が安めだったり、無料のバスを開発する。
ハイブリット車で道路が混まないように道を多くする
家庭用自家用車を制限するのではなく電気で動くようにしたり、公共の乗り物の利便性を高めていくべきだと思う。電車ならばリニアモーターカーを全面的に採用したり、工夫していくことが大事だと思う。
電車の運転手がいらない状況での運行の実用化を進めること。駅のエスカレーターの設置。駅が混雑しても事故がおきないようにホームドアを設置する。
一人一人が外に出る意識を持てばいいと思う。
現実世界ではなくバーチャルの世界を作り、脳から発する電気信号で操作できるような物が出来れば誰もが移動できます。
夜遅くに出歩くことは推奨しないが、誰が夜遅くでかけても、安心できるようなまちにしたいと思う。また、お年寄りの方が家から出やすいように地域での親密度を高めたり協力したりし、助け合えるようなまちにしたいと思う。あと、狭い歩道等は拡張したりして人の往来を多くしやすくすべきだと思う。
車でなく電車の移動手段の方が効率的でいいと思わせる工夫をする。バスは混雑していると乗りにくいので（個人的に）本数を増やしてみる。
地域内で団地や個人の家からスーパーや図書館、駅などの公共施設に行けるバスやタクシーを手配する。
地域ごとに連携を取り、協力して交通に有利になるようにする
バスの運転手が減少して、バスがなくなってしまうかもしれないため運転手の給料を上げる。
1つは東京や大阪などの、バスや電車が確実に廃止されないような都市に移動する。もう一つは地域の活性化を目指すことです。前者が一番手っ取り早いですが、地域の過疎化や過密化が起こるためあまり自分は推奨しません。一方後者は過密化や過疎化の心配が。

提案内容
乗り物をたくさんつくる
車ではなく公共交通機関の利用を促進するため地元区間での割引を事業者と交渉する。また鉄道同士、鉄道でバスなどの乗り換え接続が不便な所が散見されるのも利用率を上げられない要因になっていると考えられるので時刻や接続、本数の見直しなど利用状況にあったダイヤ作りをしてもらう。
出かけたい時とかにタクシーみたいに予約などができるような最大4人乗りの自動運転する乗り物を開発できるのかなと思います。
ハイヤーに近いものを相場より多少安く市や県等が大型車を使って運営し、数世帯で1台分の料金を負担し、利用権を共有したり、一定の割合を税金でまかない負担を軽くする。
タクシーなどの状況によって臨機応変に動かせる移動手段を多く取り入れる
足や、目の不自由な人でもよりのりやすく、バスや電車にかいだんや点字などを多くするのがよいと思う。そして、持続的な社会にするためには、水素などを使って環境にやさしいエネルギーを使うことが大切だと思う。
電車やバスの来る時間を8分おきに（運行数を増やす）、どのような人もあまり待つことなく移動できるようにする。近年はドライバー不足が問題となっているので、一部の車両にて自動運転を導入し、ドライバー不足問題に対処していく。
動く歩道を公道に導入。坂道でも自動で自転車をこげるすぐれもの。
自動運転やロボット配送をすすめていく
従業員の人数に頼ることがないシステムにしていくこと。例えば無人のバスや電車を導入すればそのバスや電車などに関わる従業員を今までより少なくしていくようになるため。他にもロボットなどを使って人がすべき業務を減らしていったらいいと思う。
ローカルバスの利用を、より促進すべきだと思います。現在、ローカルバスの主な利用者は高齢者で、若い世代の利用率は芳しくありません。定期券を安くしたり、何かキャンペーンを行うなどして幅広い世代にローカルバスの利用をすすめるべきです。
自動運転技術を活用してバスを無人で運行させる。
永久磁石を使ったリニアモーターカーのような、資源や電力などの消費がない交通手段があったらいいと思う。人工ダイヤのように、動物の死体から化石燃料を使って火力発電をして資源を永遠に作り続けられるような機構でもいいと思う。
もう少し久喜方面のアクセス向上させるべき テーマパークをふやして観光地を増やしたら魅力ができる。
バリアフリーを意識した「まち」をつくるべきだと思う。またそのためには財の支出を積極的に行って行くべきだと思う。
鉄道開通。道路整備
現実世界でなく、仮想空間を新たな世界にすれば、資源の心配は減ると思う。そのためには、人をどうやって完全に仮想空間に移動させるか、また、そもそも世界とはどんなものかを調べる必要があると思う。
自動運転でお年寄りでも安心して車に乗れるようにする。お年寄りが車を運転したときに事故になったというニュースをよく見るから。またお年寄りももう一度教習所に行くことをすすめる。
・化石燃料を燃料を使用して動く車両から電気で動く環境にやさしい車両に変えて運行する ・バリアフリーに対応した車両を増やす
関東圏の主要な交通手段は主に鉄道なのでJRと少子高齢化について協力しあえばいいと思います。
・電気自動車やハイブリッド車を普及させ、エコに自動車で移動できるようにする。 ・電車やバスを少人数のために維持するのは大変なので、そのお金を自動車購入の助成金にあてる。
日本の主に地方（東北・四国など）の交通インフラを整え、いつでも快適で安全な移動ができるようにする。そのために、材料であるアスファルトの安定した生産を国内でし、老朽した地方の設備を直しつつ、災害時の復興を迅速にできるようにする。

提案内容
障害者でも一般人のようにどこへでも行けるバリアフリーの交通手段をとる。
AI
車などを自動運転にする。
人口が減り高齢化が進み、かそ地域が増えると考えられる。そのため、年寄りが乗りやすい乗り物、また、かそ地域には、送迎用の車、バスなどの整備が必要になる。そして、車いすなどでも、不自由なく、バス、電車などを利用できるよう、段差をなくしたりなどの心掛けが必要になる。
地下鉄とかあれば便利だと思う。あと公共交通に関わる人の給料を上げ、就きたい人を増やすために公共交通の効率化、あと行政が給料への補助金を出し、賃上げを促進させるべき。
地方の地域ではAIを使って電車を動かしてもらう
公共交通手段を全自動にして施設いじ費は国が負たんする。人の所得が増える
無人で運転できるバスを開発する。
住居の1階を吹き抜けにして、交通網を引く。
タクシーやバスの燃料を電気にする。公共交通機関の料金を低くする。
車を配る
車を配る
体力をつける。人口の分散。
東京に通っている人を増やすために、そういう人たちを優遇する制度をつくる。よりベッドタウンとしての役割を確立して、住民を増やす。その税でくらしにいろいろべんりにする。
水素自動車
・まず、人口を増やす事だと思います。特に若者が住みやすい制度や子育て支援策など、若者が目を引きやすい市や町にすれば、若者が増え、少子高齢化社会を少しでも緩和出来ると思います。 ・また、SNSなどを活用し、その市や町の情報を発信すれば、若者がどんどん拡散し、広まっていくと思います。
安全で安心な気持ちにすることで社会というものは豊かになり、持続可能になると感じます。そのためには、例えば道路に安全を示した環境に適しているポスターや看板を作ったり、曲がり角に車が来ると言う合図を信号によって知らせる新たな機械などを製作したら誰でも快適に運転できるのではないのでしょうか。また、道路だけでなく、車にも快適に移動できるような工夫を取り入れることで持続可能な「まち」とすると言う目標に繋がってくるのではないかと思います。
鉄道の本数が少なくなっていることはその地域に住んでいる人々が減っているが原因の一つにあると思うので、鉄道会社と市町村が協力して町おこしをして、人々を呼べれば、相対的に本数も増えると思う。
地域の人の声を聞くことができる場所を作ること小さな問題を発見でき解決できると思います。また、複数の道を作ることで人が集まる場所を減らしていけるのではないかと思います。
・学校への道長く、人の量も多く、近隣からのクレームがあると学校で聞きました。なので、学校へのバスなどの支援をするなど。
魅力があって行きたいと思える所の行く手段を公共交通機関を利用しないと行けないようにする。（遠いところに魅力のある施設を作るなど）町おこしなど発展させていく。
電車へのスロープを使いやすくする。現在、駅員の方がスロープをもって対応しているが、電車そのものに付属していたりすることによってよりスムーズに移動できるようになると思う。

提案内容
過疎地域の公共交通機関に対する行政の支援の拡充。
電車の行き先か、ダイヤを見やすくする。ヒッチハイクをすいしょうする。
体が不自由な人などが、かんたんにのれる車やかんぜん自動うんでん車があると体が不自由な人がいろいろなところに行けていいと思います。
けいびを強化したり、新たな食料をつくってみて、ねててもいどうできる車や不自由な人でもうんでんできるような車をつくる!!